

平成 30 年度  
沖縄県M I C E開催実態調査事業  
報告書

平成 31 年 3 月

沖縄県



## 目次

1. 開催実態調査 .....	5
1. 1 調査目的 .....	5
1. 2 本年度調査について .....	5
1. 2. 1 調査手法 .....	5
1. 2. 2 調査ガイドラインの見直しについて .....	5
1. 3 過去5年の調査対象件数と回答件数 .....	6
1. 4 平成30年調査対象区分と回答内容 .....	6
1. 5 調査結果 .....	7
1. 5. 1 調査結果概要 .....	7
1. 5. 2 調査結果詳細 .....	11
(1) 月別開催件数 .....	11
(2) 月別参加者数 .....	12
(5) 参加者数1,000人以上の催事開催件数 .....	17
(6) 参加者の地域分布 .....	19
(7) 海外からの参加があった催事 .....	21
(8) 海外参加者10人以上/50人以上の催事 .....	23
(9) 市町村別開催件数 .....	25
(10) エリア別開催件数 .....	29
(11) 施設の種別開催件数 .....	31
1. 6 経済波及効果の結果 .....	35
1. 6. 1 経済効果(直接効果) .....	35
1. 6. 2 経済波及効果(間接効果) .....	37
1. 7 MICEの取組みに関するアンケート結果 .....	38
1. 7. 1 アンケートの内容 .....	38
1. 7. 2 アンケート結果 .....	38
1. 8 ヒアリング調査結果 .....	41
1. 8. 1 ヒアリング調査の内容 .....	41
1. 8. 2 ヒアリング結果 .....	42
(1) インセンティブ、ミーティング案件等 .....	42
(2) 第46回青年経営者全国交流会 in 沖縄 .....	44
(3) 第1回島酒フェスタ .....	45
2. 参考資料 .....	47
2. 1 開催実態調査 調査票 .....	47
2. 2 ガイドライン .....	50



## 1. 開催実態調査

### 1. 1 調査目的

本調査業務は「沖縄 MICE 振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後の改善に向けた基礎資料とするため、本県の MICE 開催実態を把握することを目的としている。

### 1. 2 本年度調査について

#### 1. 2. 1 調査手法

調査は所定の調査票（参考資料 2. 1. 1）を郵便または電子メールにて調査対象となる施設等に送付する方法により実施した。調査対象は以下のとおり。

- ・平成 29 年度 MICE 開催実態調査で対象とした施設
- ・平成 30 年に新規開業した宿泊施設（収容人数 150 名以上）
- ・「沖縄 MICE プランナーズガイド（平成 28 年度改訂）」「ユニークベニューガイドブック」「体験プログラムガイドブック」に掲載されている企業・団体
- ・MICE の主催が見込まれる官公庁等

なお、データ集計に際しては、アンケート結果をそのまま集計するのではなく、以下の内容について精査した上で集計を行った。

- ・各事業所から回答があった開催実態の中で、催事名及び開催期間が重複した場合、同一催事とみなし統合
- ・「沖縄県 MICE 開催実態調査ガイドライン」（県外・海外から 10 名以上の参加者があること）に該当する実績を集計（ガイドラインで MICE とみなされない催事を除外）

#### 1. 2. 2 調査ガイドラインの見直しについて

本年度の調査実施に先立ち、調査の基礎となるガイドラインのうち M・I・C・E の定義について、観光庁「MICE の経済波及効果等算出事業」等の他の MICE 関連調査事業で用いられている定義との整合性を図るため、以下の通り改定を行った（参考資料 2. 2）。

項目	改定前（平成 29 年度）	改定後（平成 30 年度）
Meeting	企業・団体等が主催する会議、研修、セミナー等  ※ただし 50 名以下の「ワークショップ」や「研修会会合」などについては、「M」に分類する。	企業・団体等（ <u>公共機関・学術団体等を除く</u> ）が主催する会議、研修、セミナー等 <u>（削除）</u>  ※「 <u>I(Incentive Travel)</u> 」の定義にも該当する催事は除く。（「I」にカウントする。）
Incentive Travel	企業等の報奨旅行、研修旅行、社員慰勞旅行、招待旅行等 ※修学旅行は除く。	企業等の報奨旅行、研修旅行、社員慰勞旅行、招待旅行等 ※ <u>教育旅行、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアー等</u> は除く。

Convention, Conference	協会・学会・国内（国際）機関・団体等 が主催する国際会議、学術会議、学会、 研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、 シンポジウム、ワークショップ等 ※ただし 50 名以下の「ワークショップ」 や「研究会会合」などについては、「M」 に分類する。	協会・学会・国内（国際）機関・団体等 が主催する国際会議、学術会議、学会、 研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、 シンポジウム、ワークショップ等 (削除)
Exhibition, Event	展示会、見本市、商談会、イベント ※対象外：入学式、卒業式、採用試験、ス ポーツイベント等	展示会、見本市、商談会、イベント ※対象外： <u>フリーマーケット</u> 、 <u>路上販売会</u> 、 <u>美術・博物展</u> 、入学式、卒業式、 <u>各種試験</u> 、 スポーツイベント等

### 1. 3 過去 5 年の調査対象件数と回答件数

図表 1. 調査対象件数及び回答件数（平成 26 年～30 年）（単位:件）

	平成 26・27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
調査対象件数	350	348	475	452
回答件数	202	303	360	319
うち受入有	71	94	99	117
受入無	103	209	253	199
不 明	28	0	8	3
回答率	58%	87%	76%	71%

### 1. 4 平成 30 年調査対象区分と回答内容

図表 2. 調査対象区分別・回収件数（単位:件）

団体・施設・機関	送付 件数	回答(MICE 受入の確認)				未回答	回答率
		受入有	受入無	不明	合計		
会議施設	66	16	28	0	44	22	67%
ホテル	134	43	45	3	91	134	68%
リゾートホテル	84	29	31	0	60	24	71%
シティーホテル	24	10	3	1	14	10	58%
宿泊特化型ホテル	26	4	11	2	17	9	65%
ユニークベニュー	22	11	3	0	14	8	64%
旅行社	33	12	8	0	20	13	61%
体験プログラム	67	9	40	0	49	18	73%
視察・見学	32	9	13	0	22	10	69%
官公庁	55	10	35	0	45	10	82%
県外郭団体	35	5	25	0	30	5	86%
PCO	8	2	2	0	4	4	50%
<b>合計</b>	<b>452</b>	<b>117</b>	<b>199</b>	<b>3</b>	<b>319</b>	<b>133</b>	<b>71%</b>

※ 回答者側ではその催事が MICE であるかどうか判別ができない場合（例えば主催者がインターネット上でホテルの予約をしており、ホテル側では把握していないケース）等については、「不明」としている。

## 1. 5 調査結果

### 1. 5. 1 調査結果概要

沖縄県における MICE 開催件数は、年々増加傾向にあり、平成 30 年は 1,238 件（+29 件、前年比 102%）となっている。

催事別で見ると、Convention, Conference の増加率が大きく、241 件（前年比 115%）となっている。全体の催事別の構成は過去の傾向と同様 Incentive Travel の割合が大きく、674 件で構成比 54%、Meeting は 170 件で構成比 14%、Convention, Conference は 241 件で構成比 19%、Event, Exhibition は 153 件で構成比 12%となっている。

図表3. 年別開催件数（平成 26 年～30 年）

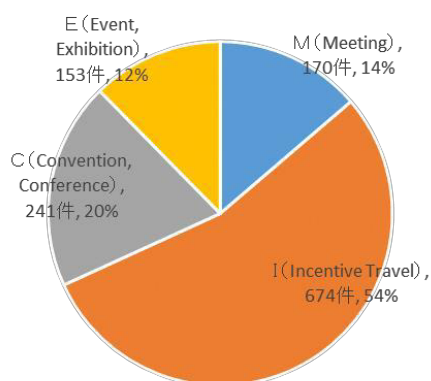
（単位：件）

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年			
	件数		件数		件数		件数		件数		増減数	前年比
M(Meeting)	223	(22%)	273	(23%)	240	(20%)	177	(15%)	170	(14%)	△7	96%
I(Incentive Travel)	631	(62%)	707	(61%)	642	(55%)	671	(56%)	674	(54%)	3	100%
C(Convention, Conference)	86	(8%)	84	(7%)	177	(15%)	209	(17%)	241	(19%)	32	115%
E(Event, Exhibition)	83	(8%)	102	(9%)	118	(10%)	152	(13%)	153	(12%)	1	101%
合計	1,023	100%	1,166	100%	1,177	100%	1,209	100%	1,238	100%	29	102%

図表4. 開催件数の推移(平成 26 年～30 年)



図表5. 平成 30 年 催事別開催件数の割合



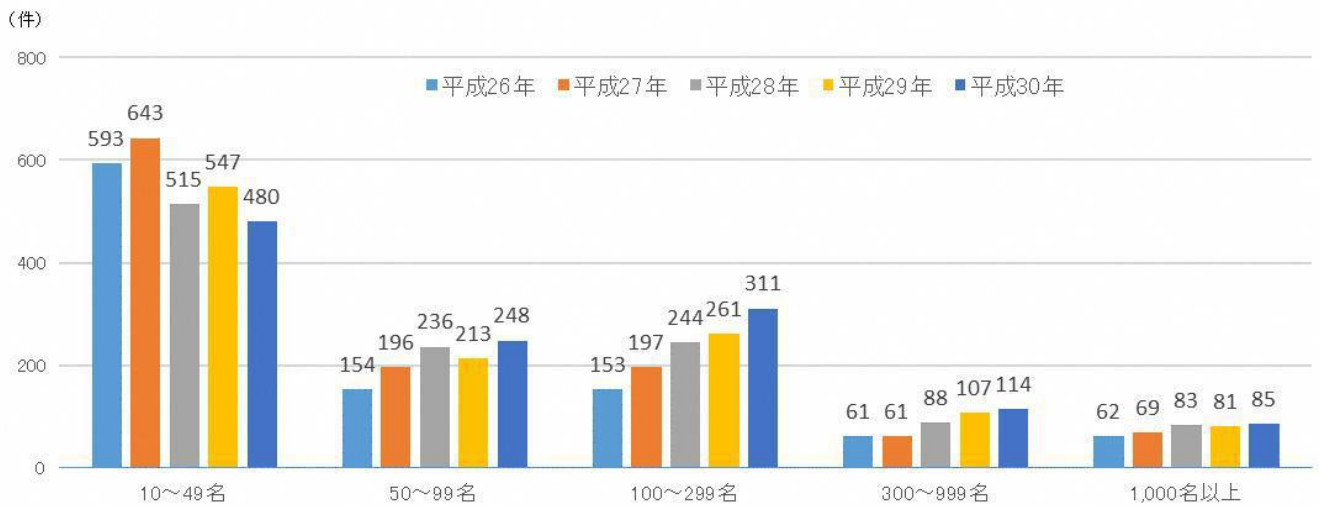
■規模別開催件数

規模別にみると、「50～99人」及び「100～299人」の小・中規模の催事がそれぞれ前年比116%、119%と伸びが顕著で、「300～999人」「1,000人以上」についてもそれぞれ107%、105%となっている。「10～49人」の小規模の催事は減少傾向にある。

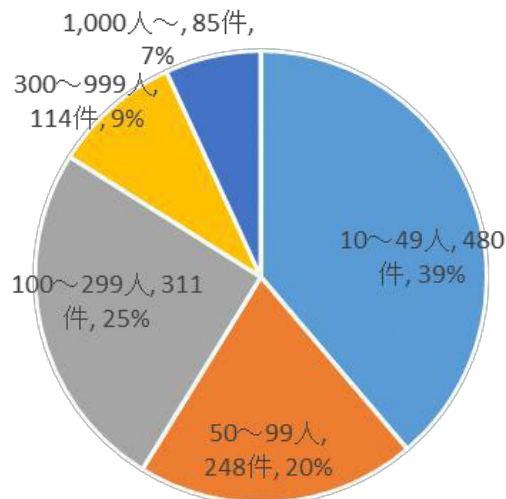
図表6. 規模別開催件数の推移

開催規模	平成26年 件数	平成27年 件数	平成28年 件数	平成29年 件数	平成30年		
					件数	増減数	前年比
10～49人	593	643	515	547	480	△67	88%
50～99人	154	196	236	213	248	35	116%
100～299人	153	197	244	261	311	50	119%
300～999人	61	61	88	107	114	7	107%
1,000人以上	62	69	83	81	85	4	105%
合計	1,023	1,166	1,177	1,209	1,238		

図表7. 規模別開催件数の推移



図表8. 規模別開催件数の割合





■参加者数 1,000 人以上の催事開催件数

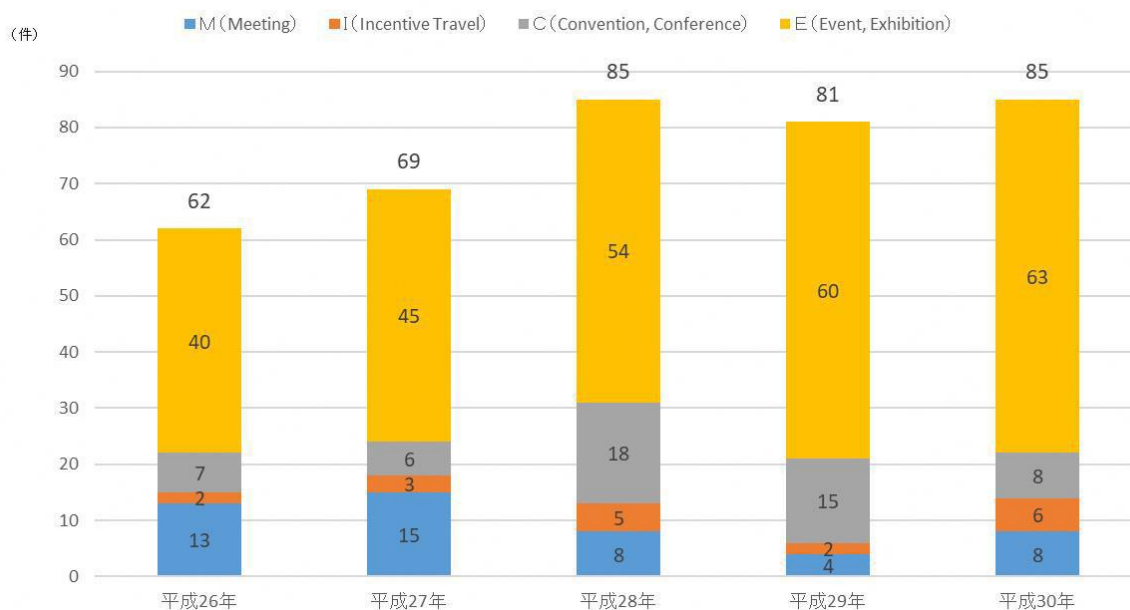
参加者 1,000 人以上の大規模催事の催事別件数は、平成 29 年と同様に Event, Exhibition が 63 件と最も多く、全体の 74%を占める。続いて Meeting 及び Convention, Conference が 8 件と同数で全体の 9.5%、Incentive Travel は 6 件で 7%となっている。

Incentive Travel、Meeting、Event, Exhibition の件数は昨年に比べて増加しているが、Convention, Conference は減少している。

図表9. 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M(Meeting)	13	21%	15	22%	8	9%	4	5%	8	9.5%
I(Incentive Travel)	2	3%	3	4%	5	6%	2	2%	6	7%
C(Convention, Conference)	7	11%	6	9%	18	21%	15	19%	8	9.5%
E(Event, Exhibition)	40	65%	45	65%	54	64%	60	74%	63	74%
合 計	62		69		85		81		85	

図表 10. 参加者 1,000 人以上の催事開催件数の推移(平成 26 年～30 年)



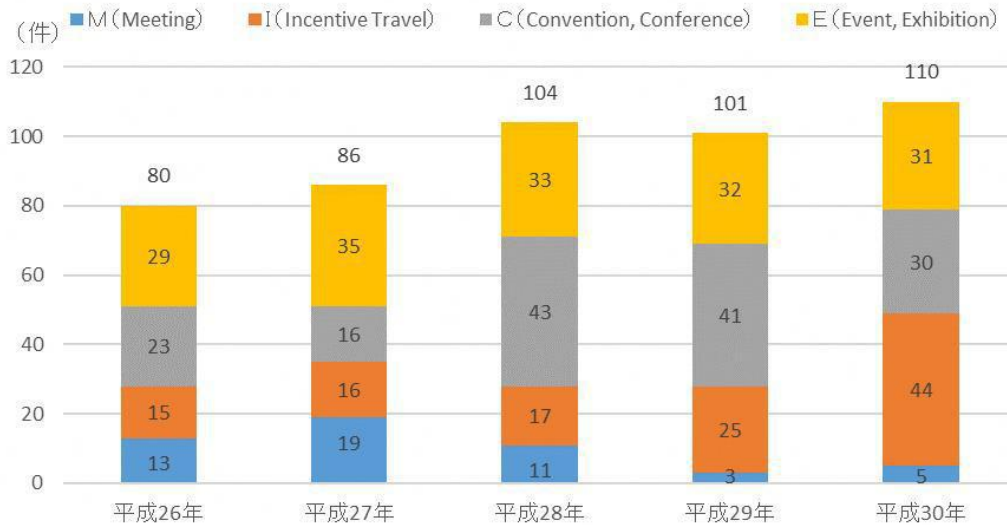
■海外及び県外参加者 300 人以上の催事開催件数

海外及び県外参加者が合計 300 人以上の催事は、平成 29 年に比べて全体で 9 件増加している。催事別に増減率を見ると、Incentive Travel が 44 件 (+19 件、前年比 176%)、構成比 40%と大きく増加している。Meeting は 2 件増加、Event, Exhibition は 1 件減少、Convention, Conference は 11 件の減少となっている。

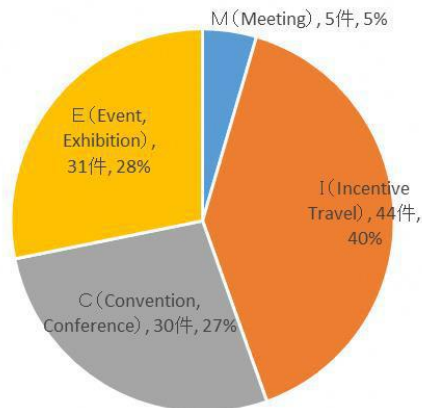
図表 11. 海外+県外参加者 300 人以上催事件数(平成 26 年～30 年)

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M(Meeting)	13	16%	19	22%	11	11%	3	3%	5	5%
I(Incentive Travel)	15	19%	16	19%	17	16%	25	25%	44	40%
C(Convention, Conference)	23	29%	16	19%	43	41%	41	40%	30	27%
E(Event, Exhibition)	29	36%	35	41%	33	32%	32	32%	31	28%
合計	80		86		104		101		110	

図表 12. 海外+県外参加者 300 人以上催事件数の推移(平成 26 年～30 年)



図表 13. 平成 30 年 海外+県外参加者 300 人以上催事件数の割合



## 1. 5. 2 調査結果詳細

### (1) 月別開催件数

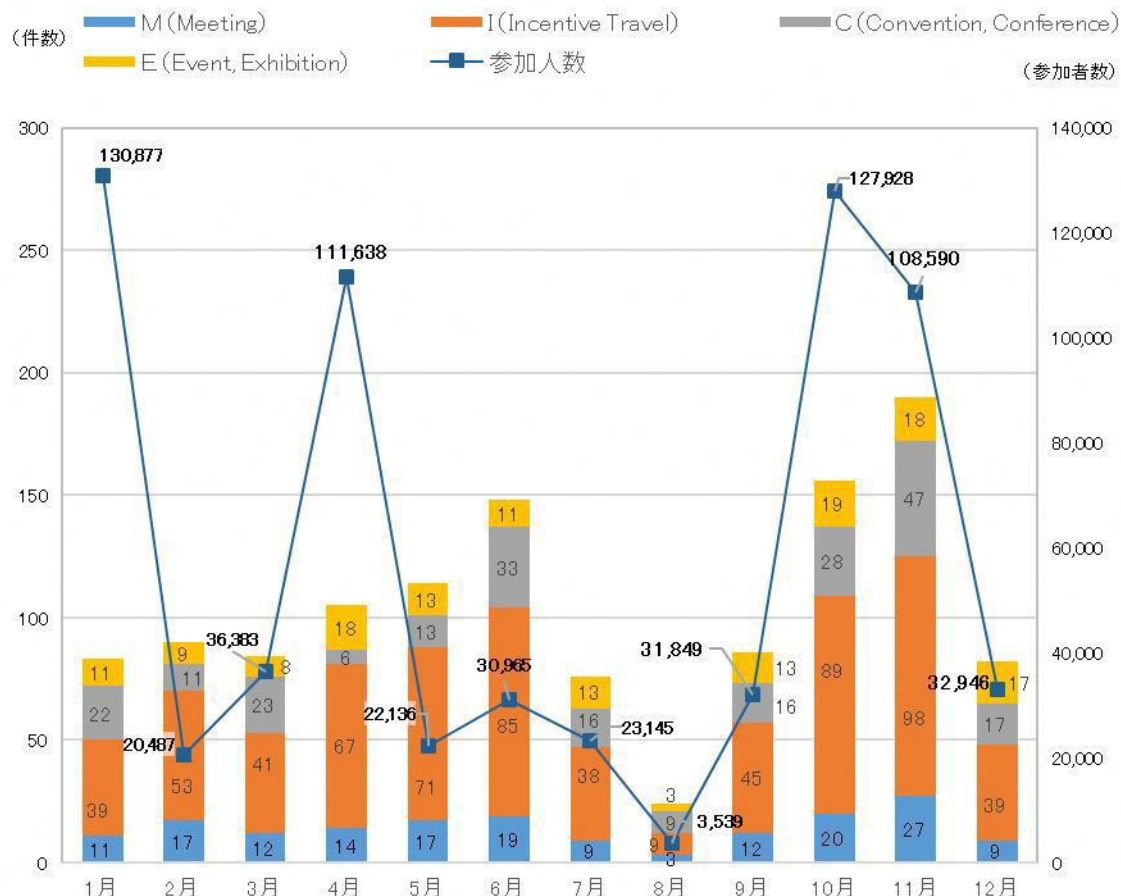
平成30年の月別の開催件数を見ると、11月が190件で最も多く、次に10月が156件と続く。10月の開催件数は平成29年は108件だったため、大きく増加している。8月は24件で極端に少なく、前年と同様の傾向がみられる。

図表 14. 平成30年 月別開催件数

(単位:件)

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
M	件数	170	11	17	12	14	17	19	9	3	12	20	27	9
	(%)	14%	6%	10%	7%	8%	10%	11%	5%	2%	7%	12%	16%	5%
I	件数	674	39	53	41	67	71	85	38	9	45	89	98	39
	(%)	54%	6%	8%	6%	10%	11%	13%	6%	1%	7%	13%	15%	6%
C	件数	241	22	11	23	6	13	33	16	9	16	28	47	17
	(%)	19%	9%	5%	10%	2%	5%	14%	7%	4%	7%	12%	20%	7%
E	件数	153	11	9	8	18	13	11	13	3	13	19	18	17
	(%)	12%	7%	6%	5%	12%	8%	7%	8%	2%	8%	12%	12%	11%
合計	件数	1238	83	90	84	105	114	148	76	24	86	156	190	82
	(%)	100%	7%	7%	7%	8%	9%	12%	6%	2%	7%	13%	15%	7%
参加者数	680,483	130,877	20,487	36,383	111,638	22,136	30,965	23,145	3,539	31,849	127,928	108,590	32,946	

図表 15. 平成30年 開催件数の月別推移



(2) 月別参加者数

平成 30 年の年間参加者数は 680,483 人（前年比 138%、+186,858 人）となっている。

分野別にみると Event, Exhibition が 529,381 人（構成比 78%）で最も多く、以下 Incentive Travel が 74,061 人（構成比 11%）、Convention, Conference が 52,963 人（構成比 8%）、Meeting が 24,078 人（構成比 4%）の順となっている。

月別の参加者数は、1 月、4 月、10 月、11 月が突出している。1 月は「おきなわ花と食のフェスティバル 2018」（約 11 万人）の影響が大きく、10 月は「第 42 回沖縄産業まつり」（約 9 万人）、4 月は「沖縄国際映画祭」（約 6 万人）、11 月は「離島フェア」（約 5 万人）とイベントによる影響が大きい。

\*回答のあった催事参加者数が「延べ人数」かつ「開催日が複数に亘る」場合は、延べ参加者数を開催日数で除した数を参加者数としている。

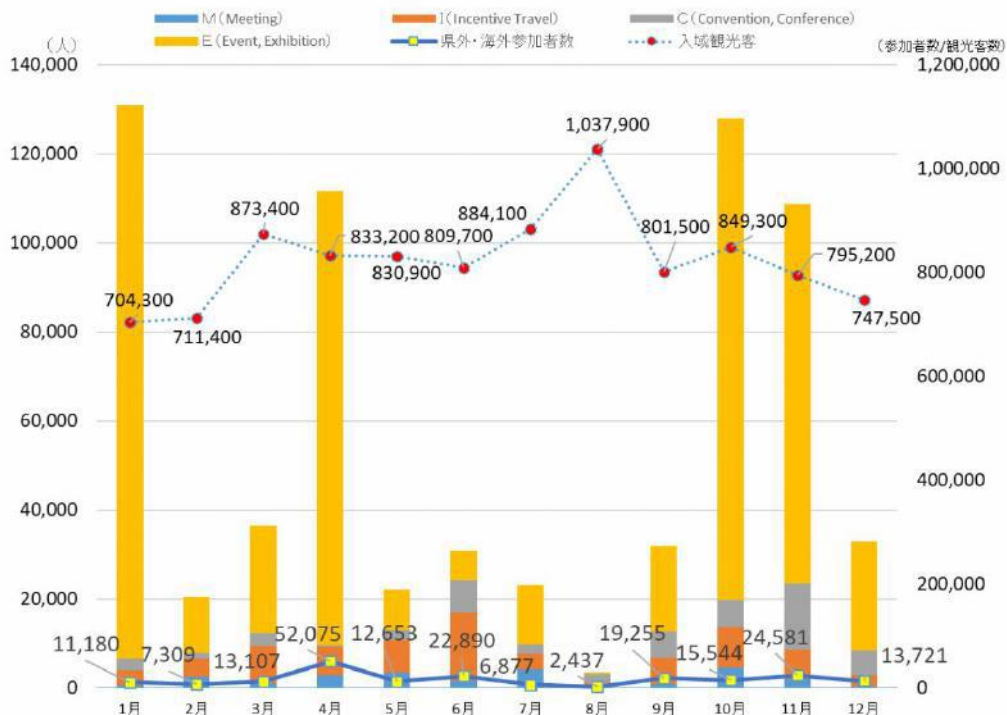
図表 16. 平成 30 年 月別参加者数

（単位：MICE 参加者数：人／入域観光客：千人）

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M 人数	24,078	476	2,578	1,057	2,858	3,437	1,651	4,242	80	909	4,522	1,981	287
(%)	4%	2%	11%	4%	12%	14%	7%	18%	0%	4%	19%	8%	1%
I 人数	74,061	3,660	4,020	8,329	6,421	7,208	15,322	3,473	1,140	5,966	9,087	6,708	2,727
(%)	11%	5%	5%	11%	9%	10%	21%	5%	2%	8%	12%	9%	4%
C 人数	52,963	2,586	1,286	3,002	268	2,436	7,198	2,134	1,879	5,848	6,205	14,713	5,408
(%)	8%	5%	2%	6%	1%	5%	14%	4%	4%	11%	12%	28%	10%
E 人数	529,381	124,155	12,603	23,995	102,09	9,055	6,794	13,296	440	19,126	108,114	85,188	24,524
(%)	78%	23%	2%	5%	19%	2%	1%	3%	0%	4%	20%	16%	5%
合 人数	680,483	130,877	20,487	36,383	111,638	22,136	30,965	23,145	3,539	31,849	127,928	108,590	32,946
計 (%)	100%	19%	3%	5%	16%	3%	5%	3%	1%	5%	19%	16%	5%
県外・海外参加者数	201,629	11,180	7,309	13,107	52,075	12,653	22,890	6,877	2,437	19,255	15,544	24,581	13,721
入域観光客	9,842	704	711	837	833	830	809	884	1,037	801	849	795	747

※入域観光客数出典：「平成 30 年入域観光客統計概況」（沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課）

図表 17. 平成 30 年 月別参加者数の推移



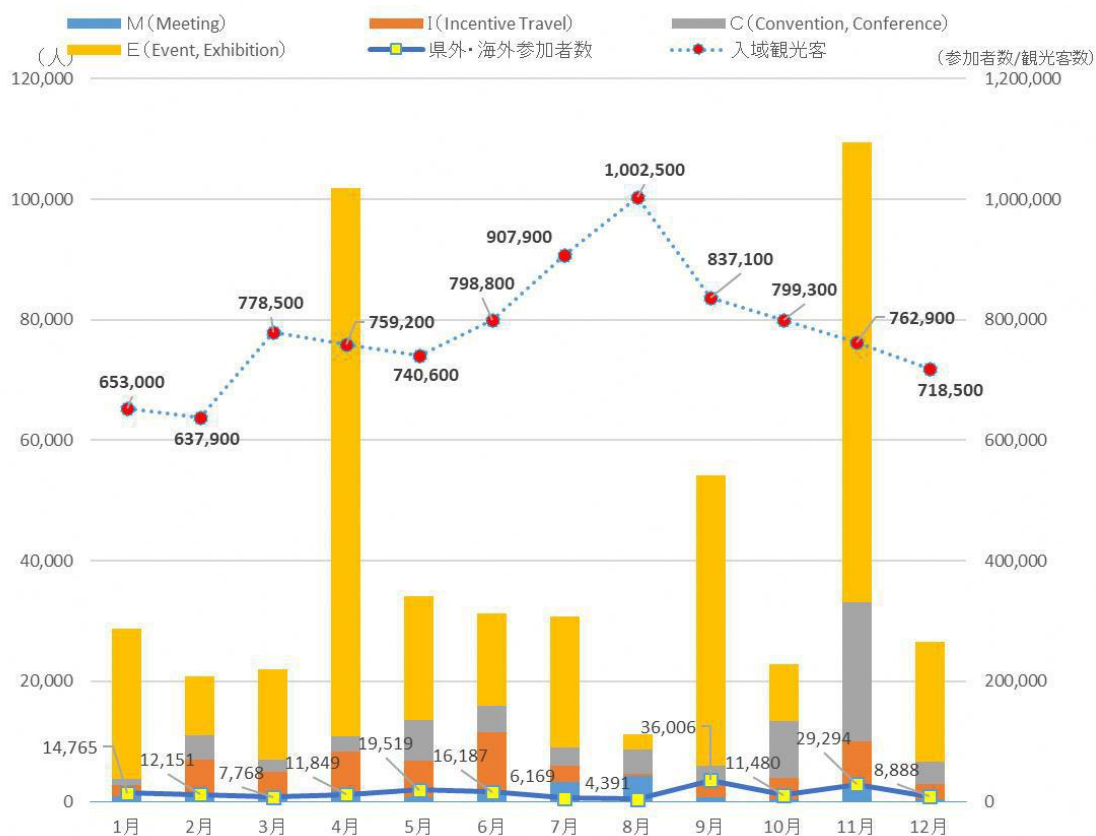
<参考>平成29年の月別参加者数

図表 18. 平成 29 年 月別参加者数

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M 人数	18,450	933	1,152	882	1,728	786	1,288	3,244	4,281	839	400	2,462	455
(%)	4%	5%	6%	5%	9%	4%	7%	18%	23%	5%	2%	13%	2%
I 人数	53,236	1,855	5,761	4,044	6,589	6,069	10,251	2,809	326	1,947	3,492	7,539	2,554
(%)	11%	3%	11%	8%	12%	11%	19%	5%	1%	4%	7%	14%	5%
C 人数	67,452	1,031	4,042	2,095	2,551	6,741	4,458	3,001	4,128	3,148	9,536	23,056	3,665
(%)	14%	2%	6%	3%	4%	10%	7%	4%	6%	5%	14%	34%	5%
E 人数	354,513	24,862	9,924	14,929	91,041	20,566	15,200	21,748	2,480	48,170	9,442	76,361	19,790
(%)	72%	7%	3%	4%	26%	6%	4%	6%	1%	14%	3%	22%	6%
合 人数	493,651	28,681	20,879	21,950	101,909	34,162	31,197	30,802	11,215	54,104	22,870	109,418	26,464
計 (%)	100%	6%	4%	4%	21%	7%	6%	6%	2%	11%	5%	22%	5%
県外・海外参加者数	178,467	14,765	12,151	7,768	11,849	19,519	16,187	6,169	4,391	36,006	11,480	29,294	8,888
入域観光客	9,396	653	637	778	759	740	798	907	1,002	837	799	762	718

※入域観光客数出典:「平成29年入域観光客統計概況」(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)

図表 19. 平成 29 年 月別参加者数の推移



### (3) 月別1件当たり参加者数

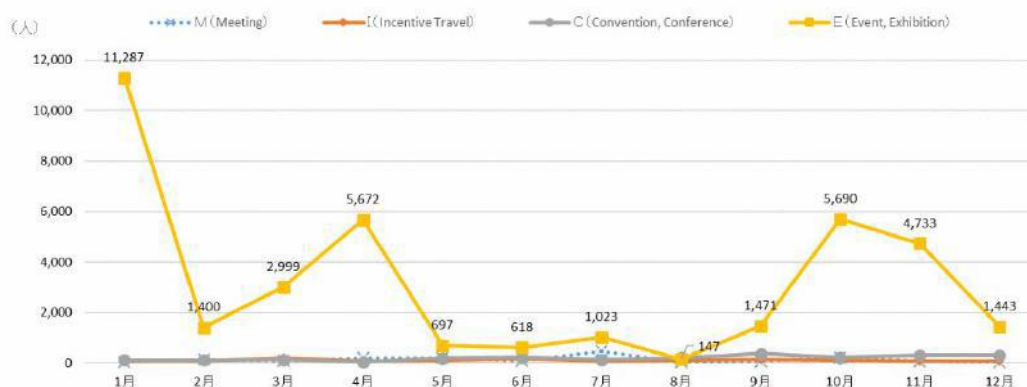
平成30年の1件当たりの参加者数は550人（前年比135%、+142人）となっている。

月別では、1月が1,577人で最も多く、その中でEvent, Exhibitionが11,287人で特に多い。これは、「おきなわ花と食のフェスティバル2018」（約11万人）の影響が大きい。

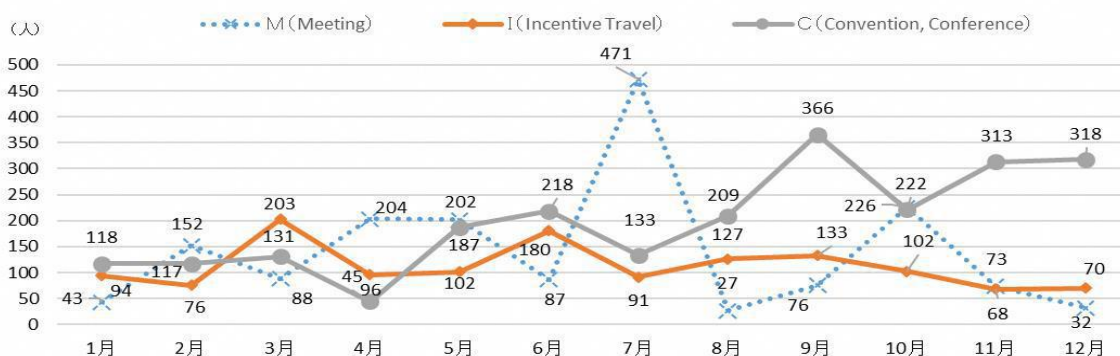
図表20. 平成30年 1件当たり参加者数 (単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	142	43	152	88	204	202	87	471	27	76	226	73	32
I	110	94	76	203	96	102	180	91	127	133	102	68	70
C	220	118	117	131	45	187	218	133	209	366	222	313	318
E	3,460	11,287	1,400	2,999	5,672	697	618	1,023	147	1,471	5,690	4,733	1,443
月平均	550	1,577	228	433	1,063	194	209	305	147	370	820	572	402

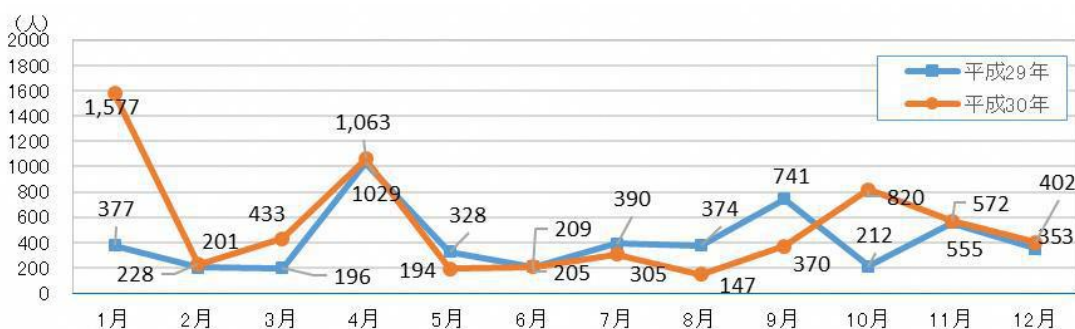
図表21. 平成30年 月別1件当たり参加者平均(全分野)



図表22. 平成30年 月別1件当たり参加者平均 (Event, Exhibitionを除く3分野)



図表23. 月別1件当たり参加者数 全体平均 平成29年と平成30年の比較



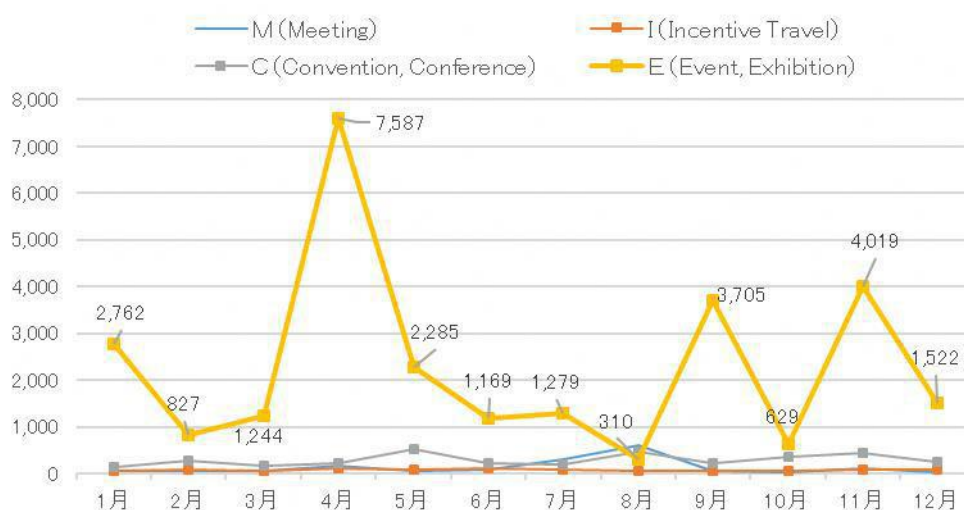
<参考>平成29年の月別1件当たり参加者数

図表 24. 平成 29 年 1 件当たり参加者平均

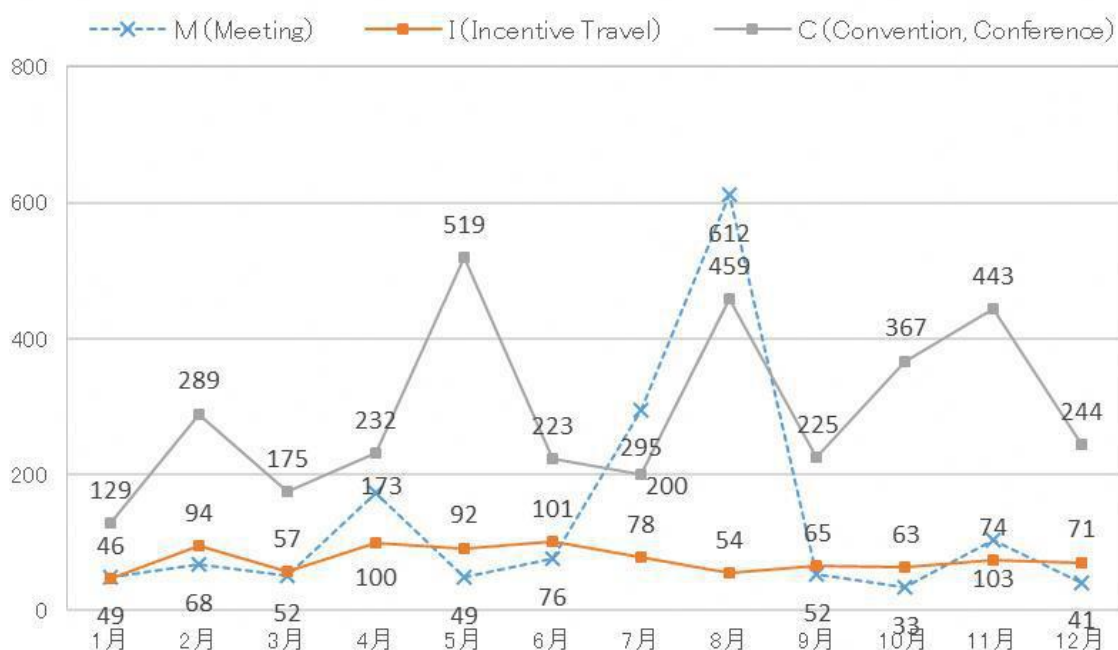
(単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	134	49	68	52	173	49	76	295	612	52	33	103	41
I	75	46	94	57	100	92	101	78	54	65	63	74	71
C	292	129	289	175	232	519	223	200	459	225	367	443	244
E	2,278	2,762	827	1,244	7,587	2,285	1,169	1,279	310	3,705	629	4,019	1,522
月平均	408	377	201	196	1,029	328	205	390	374	741	212	555	353

図表 25. 平成 29 年 月別・1 件当たり参加者平均(全分野)



図表 26. 平成 29 年 1 件当たり参加者平均(Event, Exhibition を除く3分野)



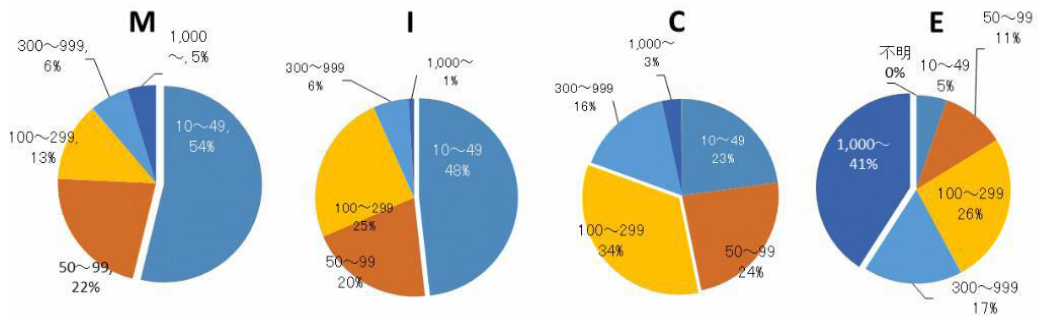
(4) 規模別開催件数

規模別にみると、昨年と同様に参加者「10～49人」の小規模催事が最も多く、全催事の39%を占めるものの、547件から480件へ減少し、「50～99人」「100～299人」が増加している。特に、「100～299人」のIncentive Travelが31件増の166件となっている。

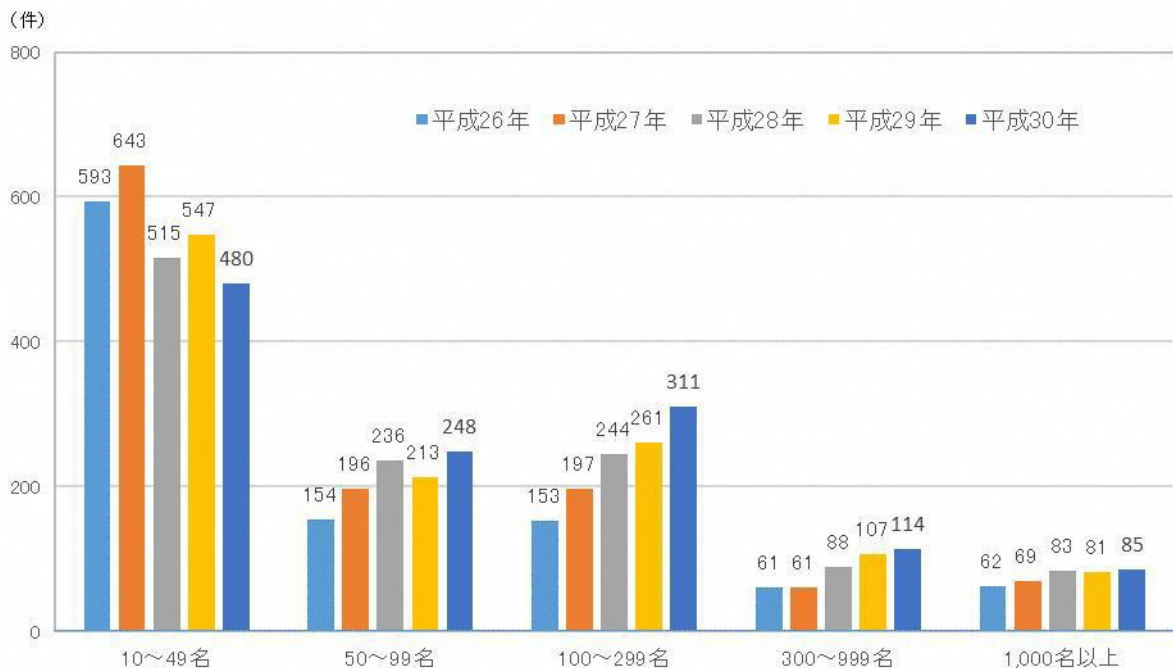
図表 27. 平成 30 年 規模別開催件数

参加者数(人)	10～49		50～99		100～299		300～999		1,000～		計 件数 (前年比)
	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	
M	91 (-30)	54%	37 (8)	22%	23 (4)	13%	11 (7)	6%	8 (4)	5%	170 (-7)
I	327 (-55)	48%	136 (9)	20%	166 (31)	25%	39 (14)	6%	6 (4)	1%	674 (3)
C	54 (37)	23%	58 (8)	24%	82 (1)	34%	39 (-7)	16%	8 (-7)	3%	241 (32)
E	8 (-19)	5%	17 (10)	11%	40 (14)	26%	25 (-7)	17%	63 (3)	41%	153 (1)
計	480 (-67)	39%	248 (35)	20%	311 (50)	25%	114 (7)	9%	85 (4)	7%	1,238 (29)

分野別構成比



図表 28. 規模別開催件数の推移（平成 26 年～30 年）





<参考>平成 29 年 規模別開催件数

図表 29. 平成 29 年 規模別開催件数

(単位:件)

参加者数(人)	10~49		50~99		100~299		300~999		1,000~		不明		計 件数 (前年比)
	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	
M	121 (-22)	68% (68%)	29 (-11)	16% (16%)	19 (-13)	11% (11%)	4 (-6)	2% (2%)	4 (-4)	2% (2%)	0 (-7)	0% (0%)	177 (-63)
I	382 (26)	57% (57%)	127 (-24)	19% (19%)	135 (18)	20% (20%)	25 (10)	4% (4%)	2 (-1)	0% (0%)	0 (0)	0% (0%)	671 (29)
C	17 (15)	8% (8%)	50 (12)	24% (24%)	81 (8)	39% (39%)	46 (4)	22% (22%)	15 (-3)	7% (7%)	0 (-4)	0% (0%)	209 (32)
E	27 (13)	18% (18%)	7 (0)	5% (5%)	26 (4)	17% (17%)	32 (11)	21% (21%)	60 (6)	39% (39%)	0 (0)	0% (0%)	152 (34)
計	547 (32)	45% (45%)	213 (-23)	18% (18%)	261 (17)	22% (22%)	107 (19)	9% (9%)	81 (-2)	7% (7%)	0 (-11)	0% (0%)	1,209 (32)

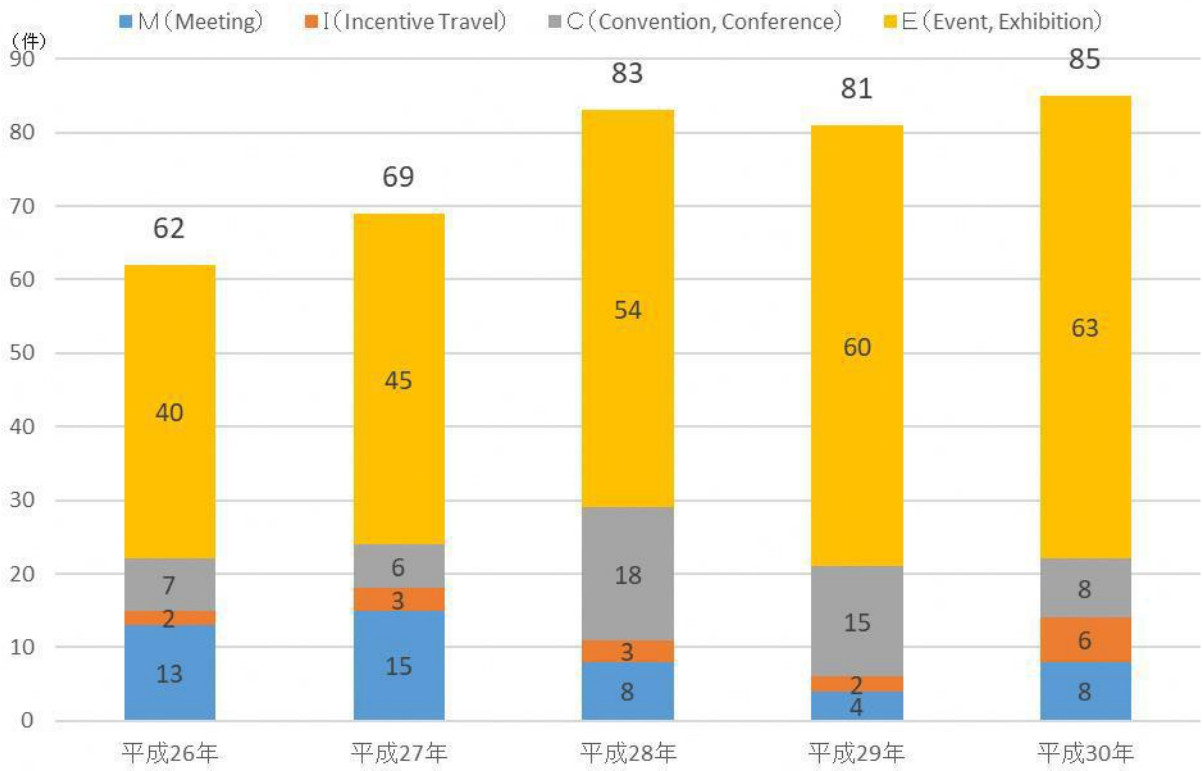
(5) 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数

平成 30 年の参加者「1,000 人以上」の催事開催件数は 85 件で、昨年より 4 件増加している。  
また、催事別にみると、Convention, Conference 以外の催事はすべて増加している。

図表 30. 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数の推移(平成 26 年~30 年) (単位:件)

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M(Meeting)	13	21%	15	22%	8	10%	4	5%	8	9%
I(Incentive Travel)	2	3%	3	4%	3	4%	2	2%	6	7%
C(Convention, Conference)	7	11%	6	9%	18	22%	15	19%	8	9%
E(Event, Exhibition)	40	65%	45	65%	54	65%	60	74%	63	74%
合計	62		69		83		81		85	

図表 31. 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数の推移（平成 26 年～30 年）



(6) 参加者の地域分布

平成 30 年は 680,483 人のうち県内参加者が 472,980 人、構成比 70%と昨年の約 3 倍となっている。特に、Event, Exhibition での伸びが大きく、「おきなわ花と食のフェスティバル 2018 (約 11 万人)」「第 42 回沖縄産業まつり (約 9 万人)」のような県内参加者が多い催事の参加者数が大きく伸びたこと、また「不明」の回答が昨年と比較して減ったことが要因と考えられる。県外は 180,939 人 (前年比 113%、+21,332 人)、海外が 20,690 人 (前年比 110%、+1,830 人) と増加している。

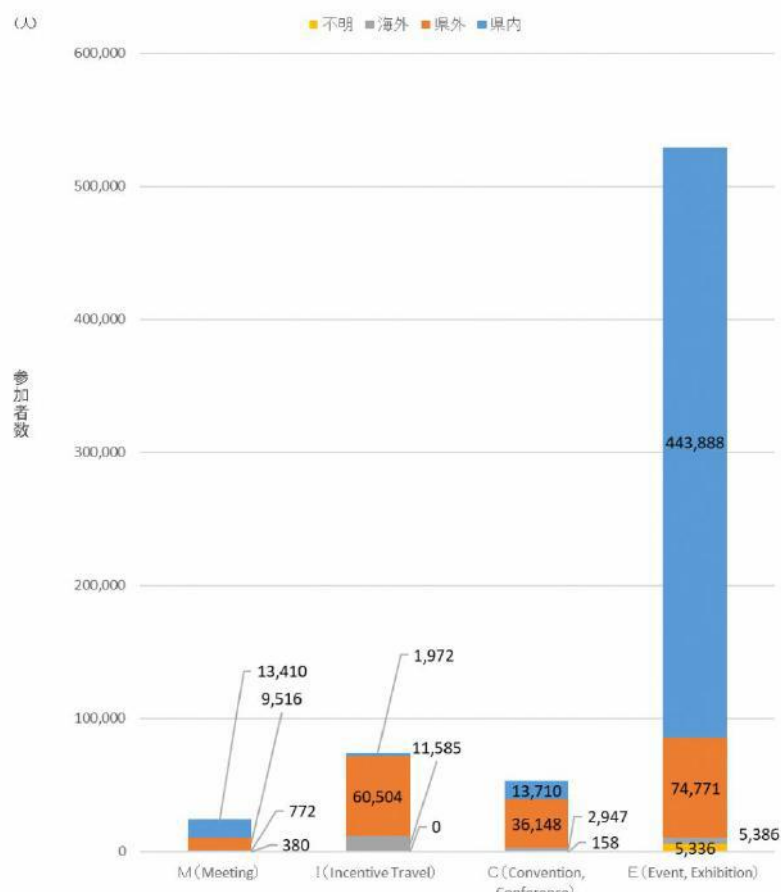
催事別にみると、Event, Exhibition の 529,381 人に次いで、Incentive Travel が大きく、74,061 人と前年比 20,825 人増となっている。Convention, Conference は 52,963 人となり、前年より 14,489 人減少となった。

図表 32. 平成 30 年 参加者の地域分布

(単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M(Meeting)	人数	24,078	13,410	9,516	772	380
	(%)	3%	56%	40%	3%	2%
I(Incentive Travel)	人数	74,061	1,972	60,504	11,585	0
	(%)	11%	2%	82%	16%	0.0%
C(Convention, Conference)	人数	52,963	13,710	36,148	2,947	158
	(%)	8%	26%	68%	6%	0%
E(Event, Exhibition)	人数	529,381	443,888	74,771	5,386	5,336
	(%)	78%	84%	14%	1%	1%
合計	人数	680,483	472,980	180,939	20,690	5,874
	(%)	100%	70%	27%	3%	1%

図表 33. 平成 30 年 参加者の地域分布

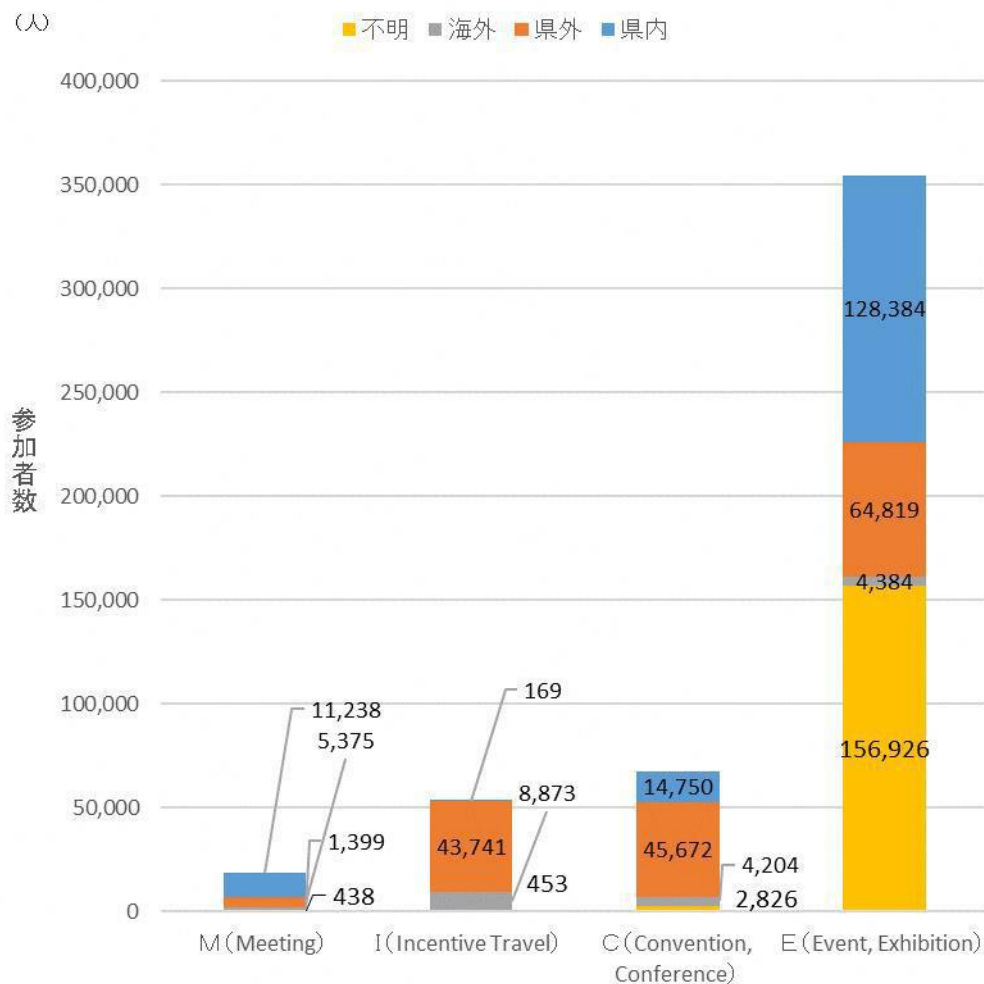


<参考>平成 29 年 参加者の地域分布

図表 34. 平成 29 年 参加者の地域分布 (単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M(Meeting)	人数	18,450	11,238	5,375	1,399	438
	(%)	4%	61%	29%	8%	2%
I(Incentive Travel)	人数	53,236	169	43,741	8,873	453
	(%)	11%	0%	82%	17%	1%
C(Convention, Conference)	人数	67,452	14,750	45,672	4,204	2,826
	(%)	14%	22%	68%	6%	4%
E(Event, Exhibition)	人数	354,513	128,384	64,819	4,384	156,926
	(%)	72%	36%	18%	1%	44%
合計	人数	493,651	154,541	159,607	18,860	160,643
	(%)	100%	31%	32%	4%	33%

図表 35. 平成 29 年 参加者の地域分布



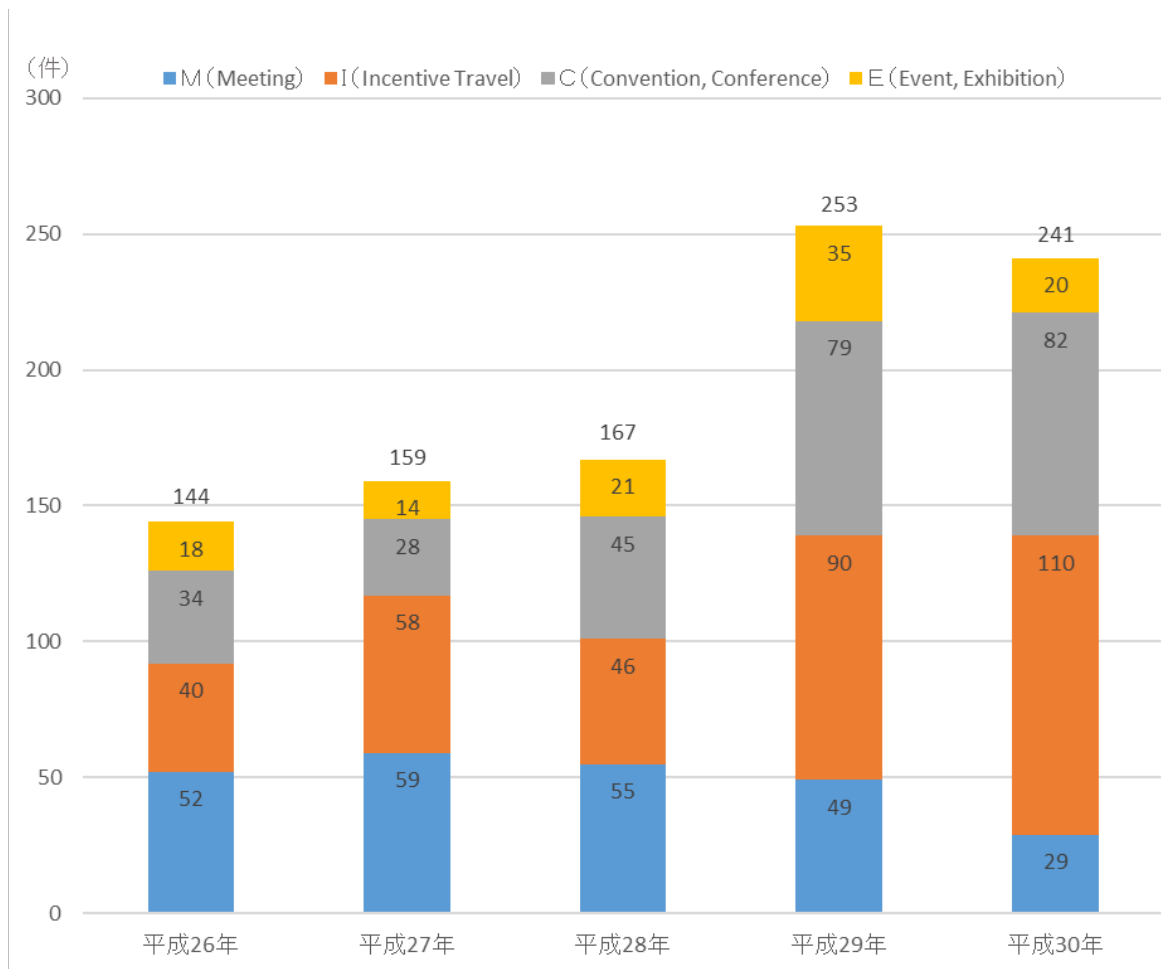
(7) 海外からの参加があった催事

平成30年に海外からの参加者のあった催事は241件で、前年より12件減となっているが、過去5年の推移をみると増加傾向にある。催事別では、Incentive travelが20件増と伸びが大きい。

図表 36. 海外からの参加者があった催事の開催件数(平成26年～30年)

	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	(前年比)
M	52	36%	59	37%	55	33%	49	19%	29	12%	59%
I	40	28%	58	36%	46	27%	90	36%	110	46%	122%
C	34	24%	28	18%	45	27%	79	31%	82	34%	103%
E	18	12%	14	9%	21	13%	35	14%	20	8%	57%
合計	144		159		167		253		241		
(参考) 全体件数 (海外から参加が あった催事の割合)	1,023		1,166		1,177		1,209		1,238		
	14%		13%		14%		20%		19%		

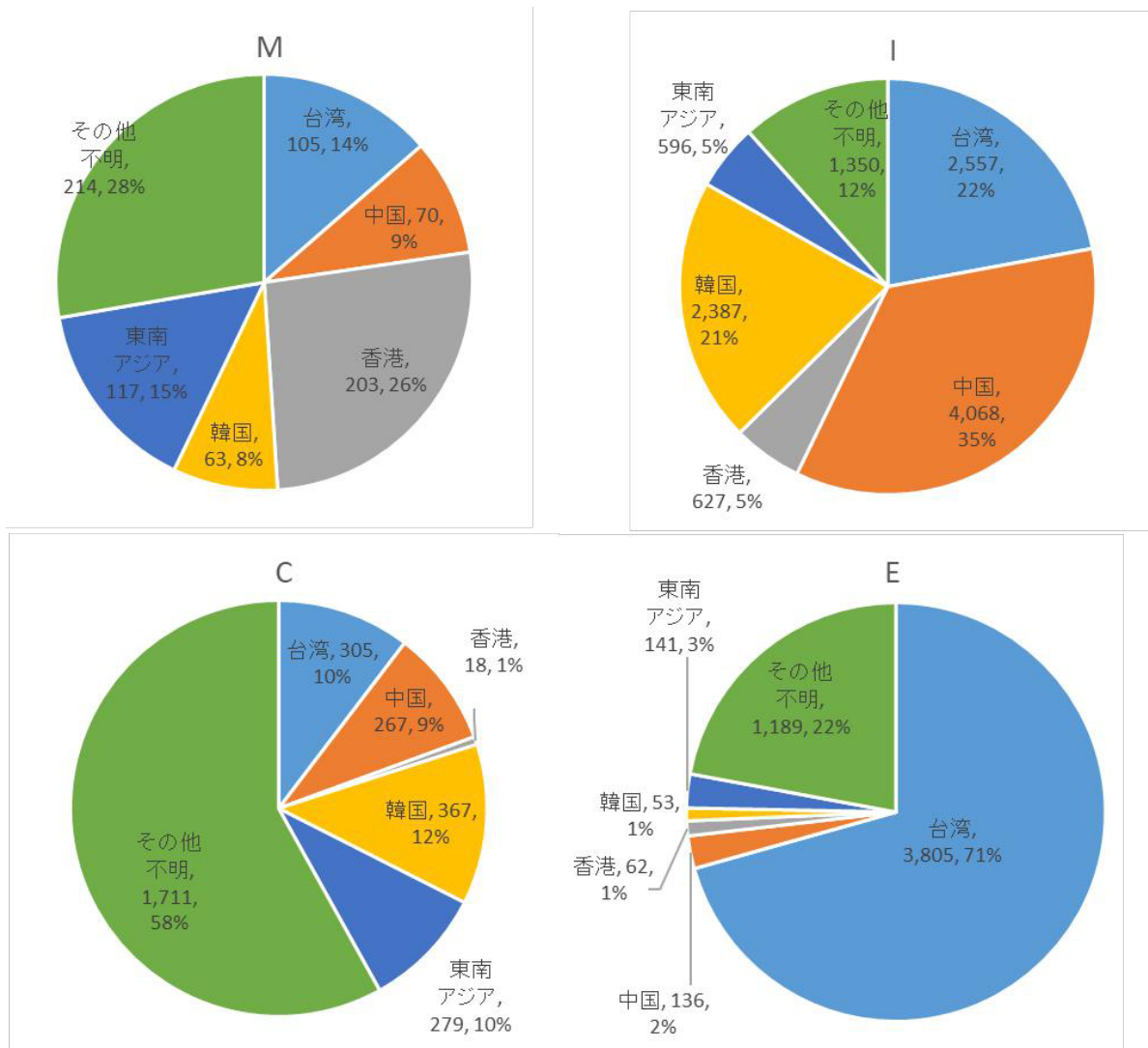
図表 37. 海外からの参加者があった催事の開催件数推移(平成26年～30年)



図表 38. 平成 30 年 国・地域別参加者数 (単位:人)

	台湾	中国	香港	韓国	東南 アジア	その他 不明	計
M(Meeting)	105	70	203	63	117	214	772
I(Incentive Travel)	2,557	4,068	627	2,387	596	1,350	11,585
C(Convention, Conference)	305	267	18	367	279	1,711	2,947
E(Event, Exhibition)	3,805	136	62	53	141	1,189	5,386
計	6,772	4,541	910	2,870	1,133	4,464	20,690

図表 39. 平成 30 年 催事種類別 国・地域別参加者の構成比



(8) 海外参加者 10 人以上／50 人以上の催事

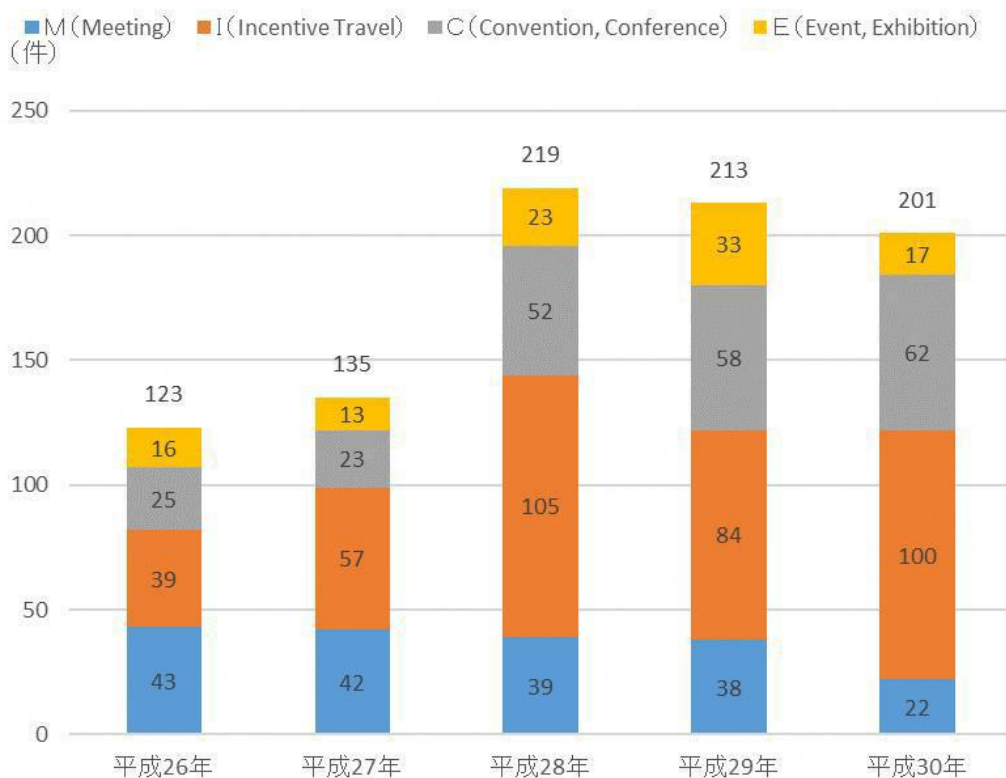
海外参加者 10 人以上の催事は、全体件数 1,238 件のうち 201 件で全体の 16%を占め、前年より 12 件減となっている。

催事別では、Incentive Travel が 100 件で全体の 50%を占め、前年に比べると 16 件増となっているが、Meeting が 38 件から 22 件へ 16 件減となっており、その影響が大きい。

図表 40. 海外参加者 10 人以上開催件数 (平成 26 年～30 年) (単位:件)

区分	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M(Meeting)	43	(35%)	42	(31%)	39	(18%)	38	(18%)	22	(11%)
I(Incentive Travel)	39	(32%)	57	(42%)	105	(48%)	84	(40%)	100	(50%)
C(Convention, Conference)	25	(20%)	23	(17%)	52	(24%)	58	(27%)	62	(31%)
E(Event, Exhibition)	16	(13%)	13	(10%)	23	(11%)	33	(15%)	17	(8%)
合計	123		135		219		213		201	
(参考) 全体件数 (10 人以上の割合)	1,023 (12%)		1,166 (12%)		1,177 (19%)		1,209 (18%)		1,238 (16%)	

図表 41. 海外参加者 10 人以上開催件数 (平成 26 年～30 年)

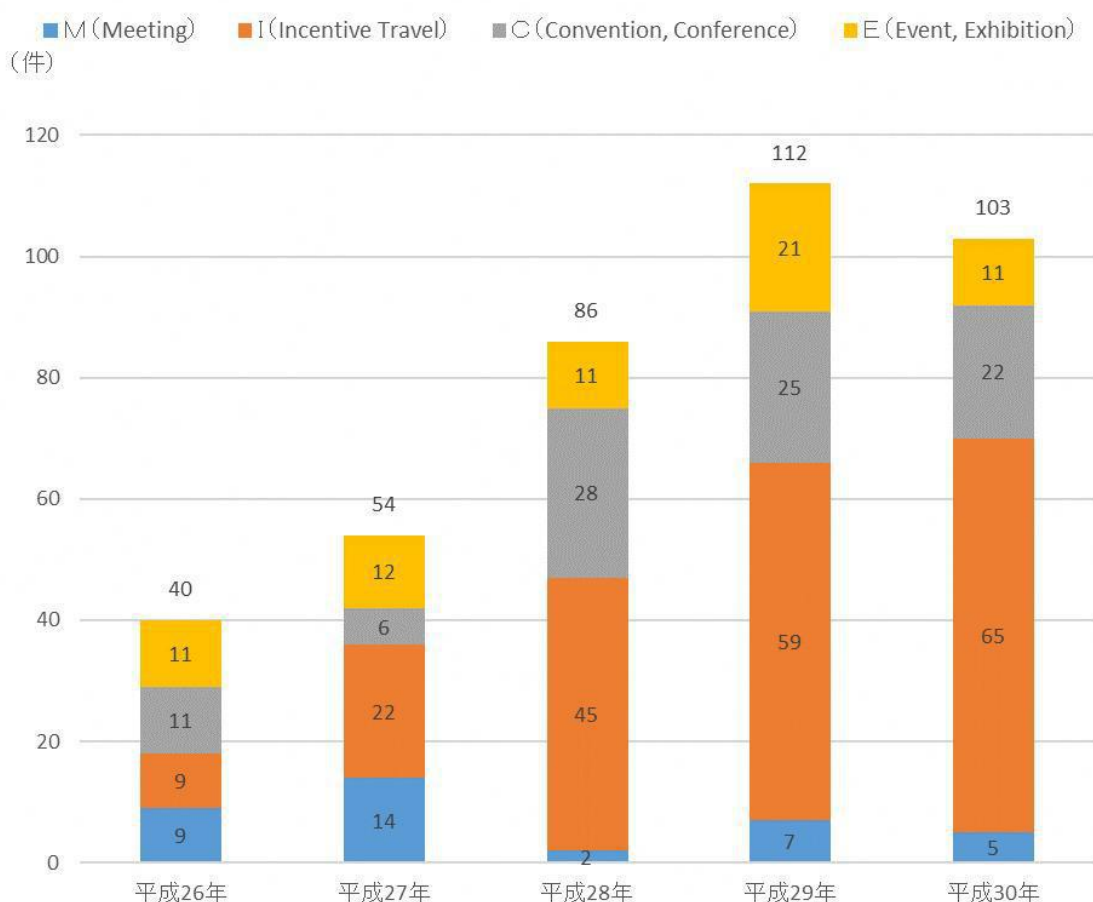


平成 30 年の海外参加者 50 人以上の催事は、全体件数 1,238 件のうち 103 件で全体の 8.3% を占め、前年比 9 件減となっている。Incentive Travel は 65 件と 6 件増となっているが、Event、Exhibition、Convention、Conference、Meeting の件数が減少している。

図表 42. 海外参加者 50 人以上の開催件数（平成 26 年～30 年）（単位：件）

区分	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	件数	割合
M (Meeting)	9	(23%)	14	(26%)	2	(2%)	7	(6%)	5	(5%)
I (Incentive Travel)	9	(23%)	22	(41%)	45	(52%)	59	(53%)	65	(63%)
C (Convention, Conference)	11	(28%)	6	(11%)	28	(33%)	25	(22%)	22	(21%)
E (Event, Exhibition)	11	(28%)	12	(22%)	11	(13%)	21	(19%)	11	(11%)
合計	40		54		86		112		103	
(参考) 全体件数 (50 人以上の割合)	1,023 (3.9%)		1,166 (4.6%)		1,177 (7.3%)		1,209 (9.3%)		1,238 (8.3%)	

図表 43. 海外参加者 50 人以上の開催件数（平成 26 年～30 年）





(9) 市町村別開催件数

市町村別開催件数は、那覇市が 374 件で最も多く、前年比 73 件増となっている。続いて名護市の 314 件、宜野湾市の 172 件となっている。

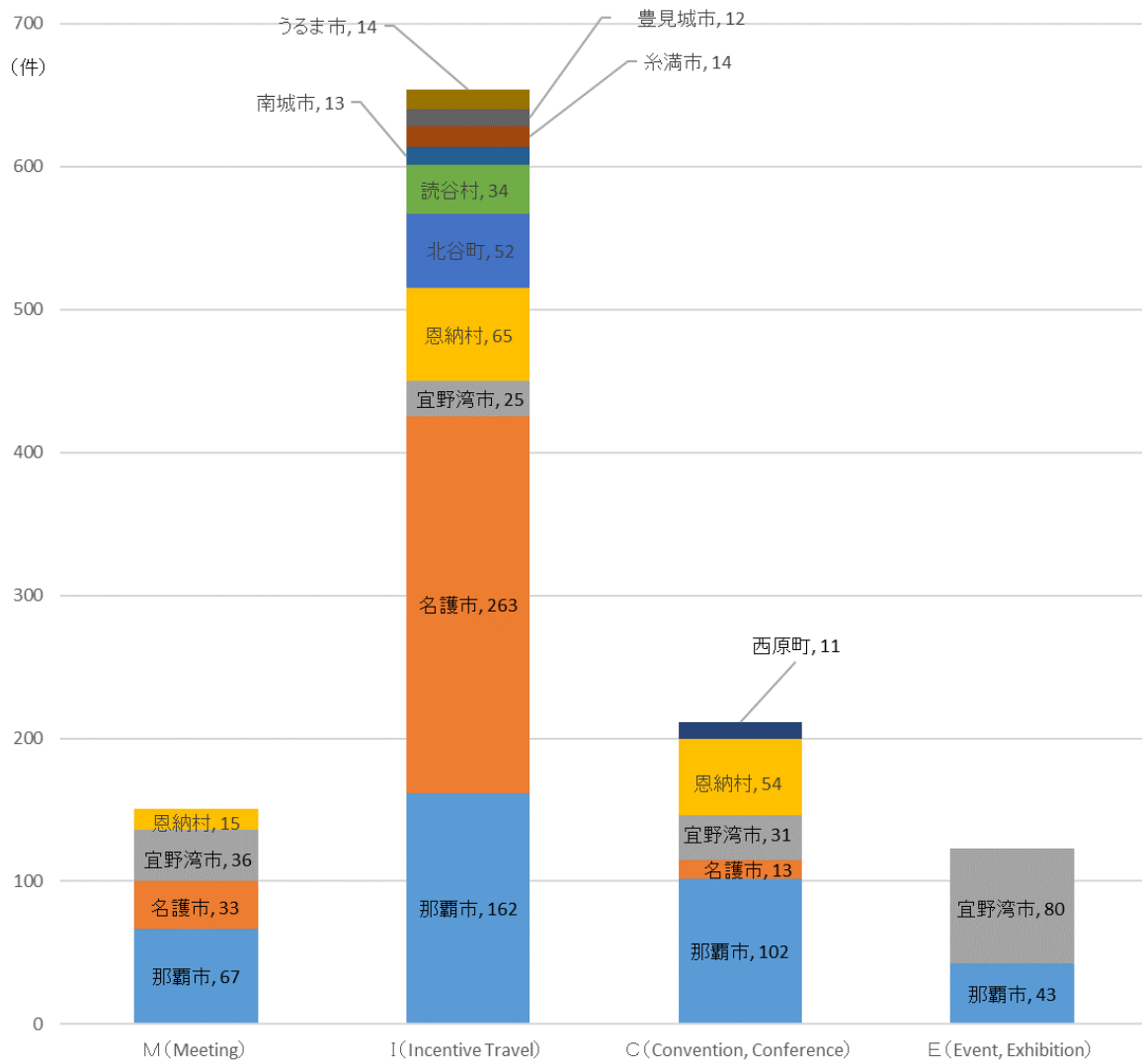
催事別では、Meeting と Convention, Conference は那覇市、Incentive Travel は名護市、Event, Exhibition については沖縄コンベンションセンターが所在する宜野湾市が最も多い。

図表 44. 平成 30 年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C(Convention, Conference)	E(Event, Exhibition)
1	那覇市	374	67	162	102	43
2	名護市	314	33	263	13	5
3	宜野湾市	172	36	25	31	80
4	恩納村	134	15	65	54	0
5	北谷町	58	3	52	2	1
6	読谷村	38	1	34	3	0
7	南城市	25	2	13	2	8
8	糸満市	22	4	14	4	0
9	豊見城市	18	2	12	2	2
10	うるま市	17	1	14	2	0
11	西原町	12	0	0	11	1
12	宮古島市	9	3	2	3	1
13	石垣市	8	0	5	3	0
14	沖縄市	8	0	0	2	6
15	浦添市	6	0	0	1	5
16	本部町	5	0	3	1	1
17	八重瀬町	4	3	1	0	0
18	南風原町	2	0	0	2	0
19	久米島町	2	0	0	2	0
20	今帰仁村	1	0	1	0	0
21	多良間村	1	0	0	1	0
	不明	8	0	8	0	0
	合計	1,238	170	674	241	153

図表 45. 平成 30 年 催事別 市町村別 開催件数 (年間開催件数が 10 件未満の市町村を除く)



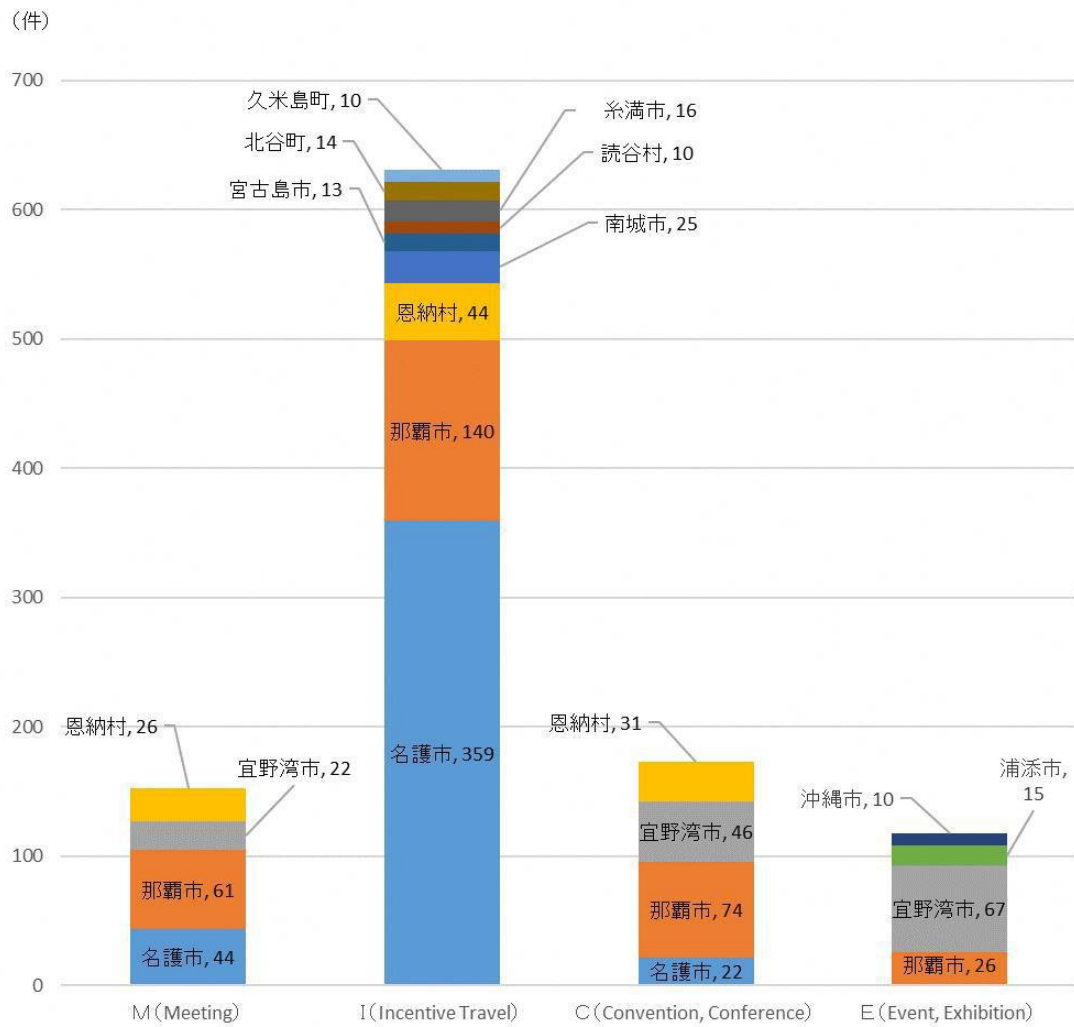
<参考>平成 29 年 市町村別開催件数

図表 46. 平成 29 年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	エリア区分	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C(Convention, Conference)	E(Event, Exhibition)
1	名護市	北部	434	44	359	22	9
2	那覇市	南部	301	61	140	74	26
3	宜野湾市	中部	141	22	6	46	67
4	恩納村	北部	101	26	44	31	0
5	南城市	東海岸	36	0	25	3	8
6	浦添市	中部	21	4	0	2	15
7	宮古島市	宮古・八重山	20	3	13	2	2
8	読谷村	中部	18	2	10	6	0
9	糸満市	南部	17	0	16	0	1
10	北谷町	中部	17	1	14	1	1
11	沖縄市	東海岸	16	0	2	4	10
12	石垣市	宮古・八重山	16	1	9	5	1
13	久米島町	南部	15	0	10	0	5
14	竹富町	宮古・八重山	14	0	14	0	0
15	西原町	東海岸	12	4	0	8	0
16	北中城村	東海岸	7	4	1	2	0
17	豊見城市	南部	5	0	0	0	5
18	本部町	北部	5	1	3	1	0
19	八重瀬町	南部	3	0	3	0	0
20	渡嘉敷村	南部	2	2	0	0	0
21	与那原町	東海岸	2	1	0	1	0
22	嘉手納町	中部	1	0	0	0	1
23	国頭村	北部	1	0	0	1	0
24	宜野座村	北部	1	1	0	0	0
25	金武町	北部	1	0	1	0	0
	不明	不明	2	0	1	0	1
	合計		1,209	177	671	209	152

図表 47. 平成 29 年 催事別 市町村別 開催件数（年間開催件数が 10 件未満の市町村を除く）



(10) エリア別開催件数

沖縄 MICE 振興戦略に基づく 5 つのエリアに分けて、MICE 開催件数を集計した結果、名護市を含む北部エリアが 454 件で最も多く、次に那覇市を含む南部エリアが 422 件となっている。昨年同様、万国津梁館が所在しリゾートホテルが集積した北部エリアでは Incentive Travel の開催件数が突出している。南部エリアでは Incentive Travel が多いものの、他の催事も一定数開催されている。

図表 48. 平成 30 年 MICE エリア別開催件数 (単位:件)

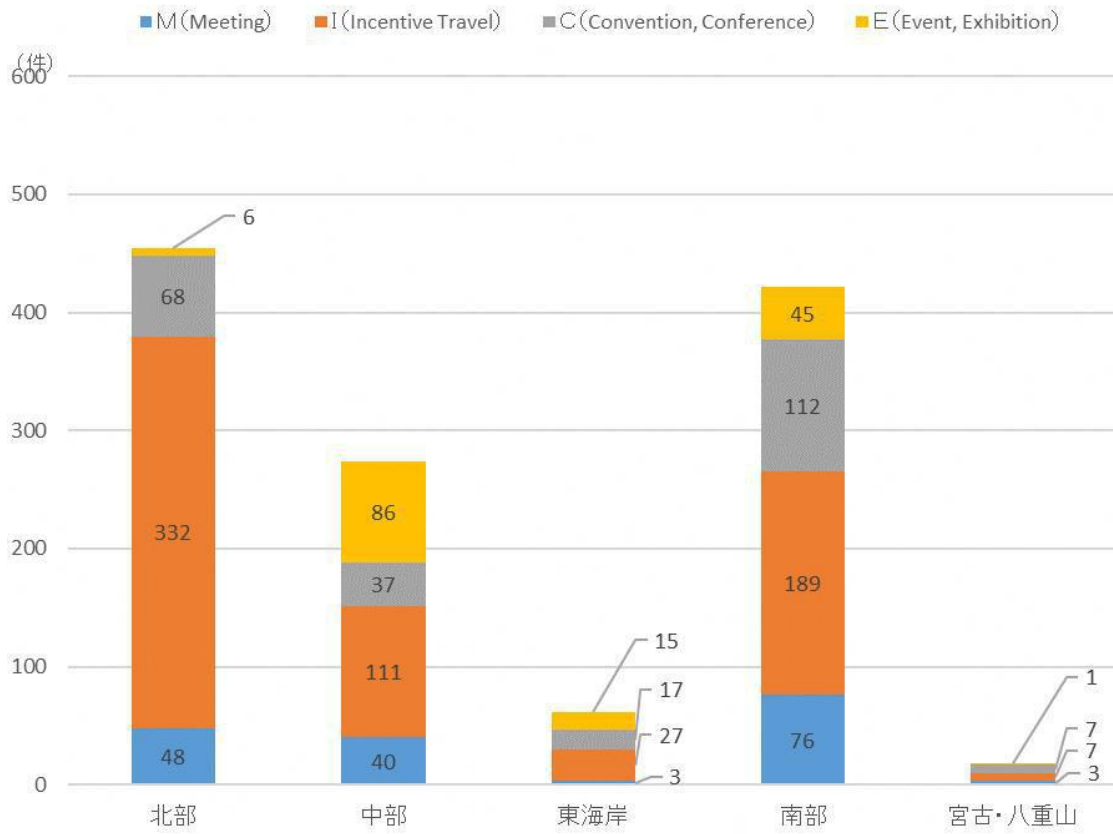
エリア区分	開催件数	M	I	C	E
北部	454	48	332	68	6
中部	274	40	111	37	86
東海岸	62	3	27	17	15
南部	422	76	189	112	45
宮古・八重山	18	3	7	7	1
不明	8	0	8	0	0
計	1,238	170	674	241	153

図表 49. MICE エリア区分一覧

北部		中部	東海岸	南部		宮古・八重山
名護市	宜野座村	宜野湾市	沖縄市	那覇市	渡嘉敷村	宮古島市
国頭村	金武町	浦添市	うるま市	糸満市	座間味村	多良間村
大宜味村	伊江村	読谷村	南城市	豊見城市	栗国村	石垣市
東村	伊平屋村	嘉手納町	北中城村	南風原町	渡名喜村	竹富町
今帰仁村	伊是名村	北谷町	中城村	八重瀬町	南大東村	与那国町
本部町			西原町	久米島町	北大東村	
恩納村			与那原町			

図表 50. 平成 30 年 エリア別開催件数

※エリア区部が不明のものを除く



(11) 施設の種別別開催件数

施設別開催件数をみるとホテルと会議施設が突出して上位を占めており、全体の約8割を占めている。

体験プログラム、ユニークベニューおよびイベント会場は平成26年から順調に伸びを示しており、特にユニークベニュー部門で増加している。

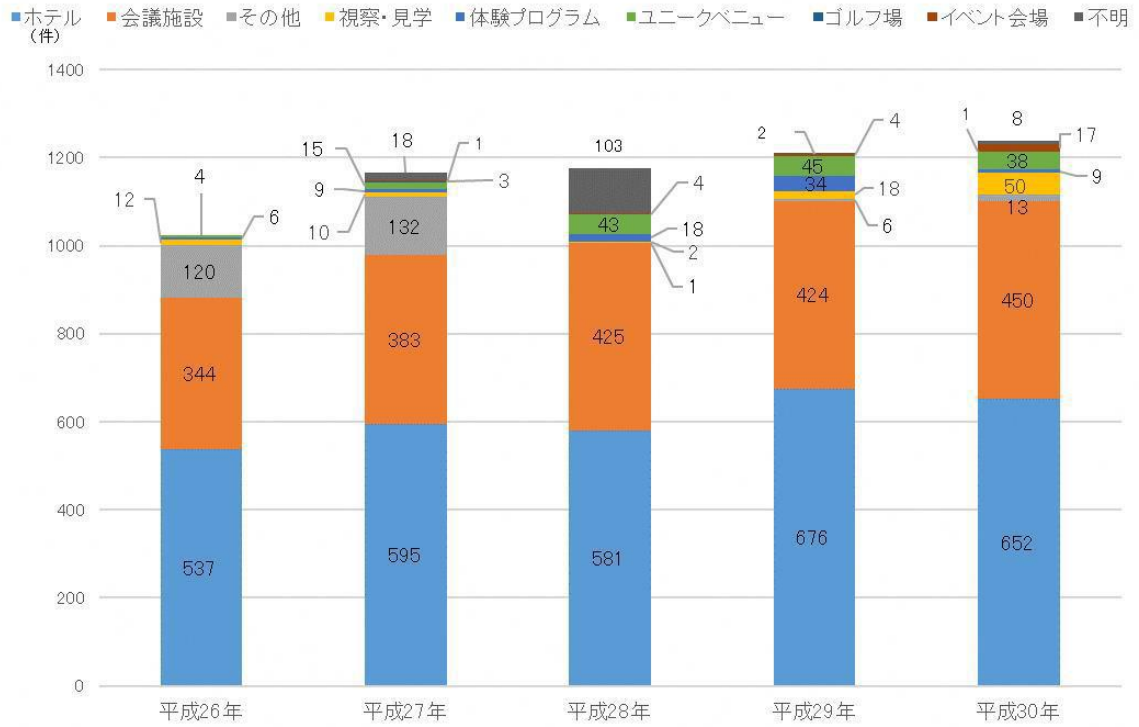
図表 51. 施設の種別別開催件数(平成26年～30年)

(単位:件)

No		平成26年					平成27年					平成28年				
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計	M	I	C	E	計
1	ホテル	70	448	11	8	537	70	503	13	9	595	104	414	45	18	581
2	会議施設	125	74	73	72	344	161	76	69	77	383	128	82	131	84	425
3	視察・見学	0	11	0	1	12	0	10	0	0	10	1	1	0	0	2
4	体験プログラム	0	6	0	0	6	0	9	0	0	9	0	18	0	0	18
5	ユニークベニュー	0	2	1	1	4	2	8	0	5	15	3	28	0	12	43
6	ゴルフ場	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
7	イベント会場	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	0	3	4
8	その他	28	90	1	1	120	31	93	1	7	132	0	0	0	1	1
9	不明	0	0	0	0	0	9	7	1	1	18	4	98	1	0	103
	合計	223	631	86	83	1,023	273	707	84	102	1,166	240	642	177	118	1,177

No		平成29年					平成30年				
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計
1	ホテル	67	533	47	29	676	70	511	57	14	652
2	会議施設	105	64	154	101	424	86	78	171	115	450
3	視察・見学	1	14	3	0	18	7	36	7	0	50
4	体験プログラム	4	23	0	7	34	0	8	1	0	9
5	ユニークベニュー	0	31	5	9	45	0	31	1	6	38
6	ゴルフ場	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
7	イベント会場	0	1	0	3	4	3	1	0	13	17
8	その他	0	4	0	2	6	4	1	4	4	13
9	不明	0	1	0	1	2	0	7	0	1	8
	合計	177	671	209	152	1,209	170	674	241	153	1,238

図表 52. 施設の種類の別開催件数の推移（平成26年～30年）



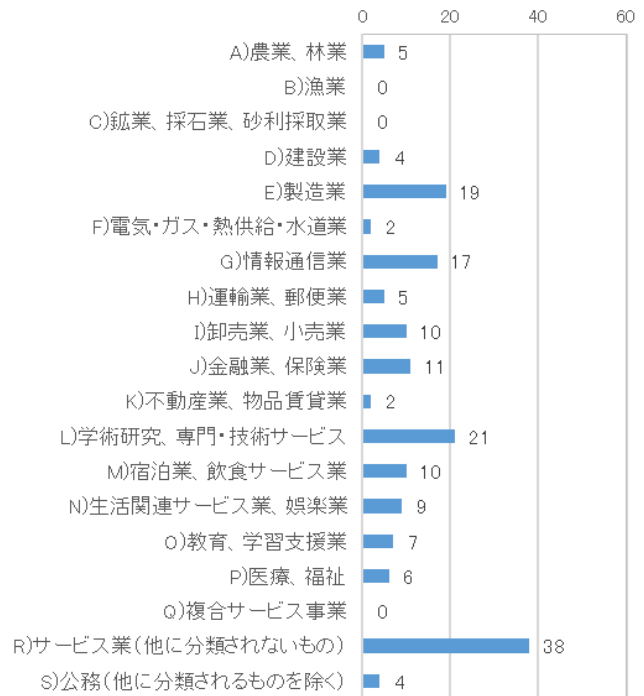


(12) 産業別開催件数

図表 53. 平成 30 年産業別開催件数 ※産業分類が不明のものを除く

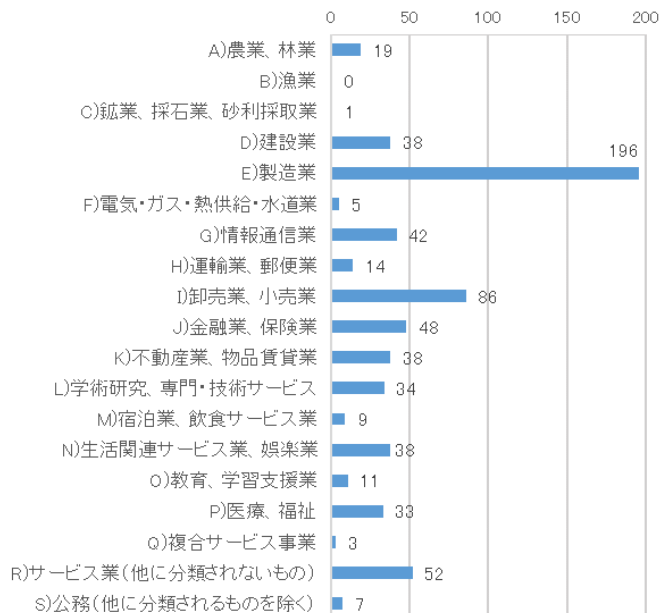
M (Meeting)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	5
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0
D)建設業	4
E)製造業	19
F)電気・ガス・熱供給・水道業	2
G)情報通信業	17
H)運輸業、郵便業	5
I)卸売業、小売業	10
J)金融業、保険業	11
K)不動産業、物品賃貸業	2
L)学術研究、専門・技術サービス	21
M)宿泊業、飲食サービス業	10
N)生活関連サービス業、娯楽業	9
O)教育、学習支援業	7
P)医療、福祉	6
Q)複合サービス事業	0
R)サービス業(他に分類されないもの)	38
S)公務(他に分類されるものを除く)	4
	170



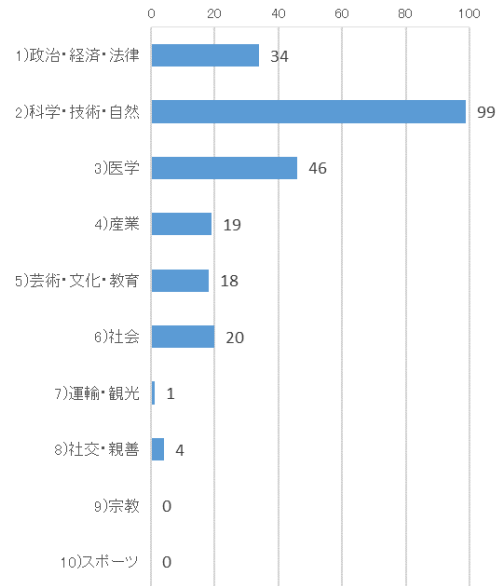
I (Incentive Travel)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	19
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	1
D)建設業	38
E)製造業	196
F)電気・ガス・熱供給・水道業	5
G)情報通信業	42
H)運輸業、郵便業	14
I)卸売業、小売業	86
J)金融業、保険業	48
K)不動産業、物品賃貸業	38
L)学術研究、専門・技術サービス	34
M)宿泊業、飲食サービス業	9
N)生活関連サービス業、娯楽業	38
O)教育、学習支援業	11
P)医療、福祉	33
Q)複合サービス事業	3
R)サービス業(他に分類されないもの)	52
S)公務(他に分類されるものを除く)	7
	674



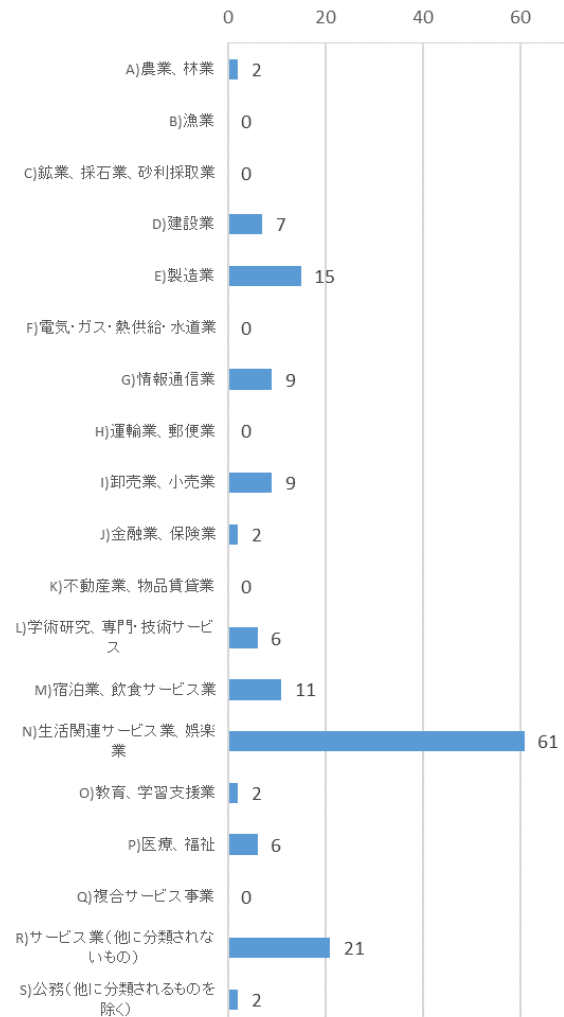
C (Convention, Conference)

会議分野名	件数
1)政治・経済・法律	34
2)科学・技術・自然	99
3)医学	46
4)産業	19
5)芸術・文化・教育	18
6)社会	20
7)運輸・観光	1
8)社交・親善	4
9)宗教	0
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合	0
	241



E (Event, Exhibition)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	2
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0
D)建設業	7
E)製造業	15
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0
G)情報通信業	9
H)運輸業、郵便業	0
I)卸売業、小売業	9
J)金融業、保険業	2
K)不動産業、物品賃貸業	0
L)学術研究、専門・技術サービス	6
M)宿泊業、飲食サービス業	11
N)生活関連サービス業、娯楽業	61
O)教育、学習支援業	2
P)医療、福祉	6
Q)複合サービス事業	0
R)サービス業(他に分類されないもの)	21
S)公務(他に分類されるものを除く)	2
	153



## 1. 6 経済波及効果の結果

平成 28 (2016) 年度に策定した「沖縄 MICE 振興戦略」で掲げる目標指標の達成状況を把握することを目的として、本調査で得られた基礎データを基に、経済効果の算出を行った。

### 1. 6. 1. 経済効果（直接効果）

経済効果（直接効果）の算出については、沖縄 MICE 振興戦略で示している以下の算出方法を用いた。なお、「不明」の参加者数は、催事別の県内・県外・海外の参加者の構成比に合わせて割り振りをを行った。

算出結果は約 243 億円となり、前年の 227 億円から 16 億円の増加となった。

#### 【計算式】

$$\text{経済効果 (直接効果)} = \left[ \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{主催者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{出展者} \\ \text{原単位} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{出展者数} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \right]$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表 54 平成 30 年 催事別経済効果（直接効果）（単位：億円）

区分	参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果	
	(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)	
M(Meeting)	4	9	-	13	
I(Incentive Travel)	26	44	-	70	
C(Convention, Conference)	28	26	-	54	
E(Event, Exhibition)	47	59	-	106	
内訳	Ex(展示会等)	7	9	-	16
	Ev(イベント)	40	50	-	90
計	105	138	-	243	

図表 55. 経済効果(直接効果)の推移(平成 26 年～30 年)

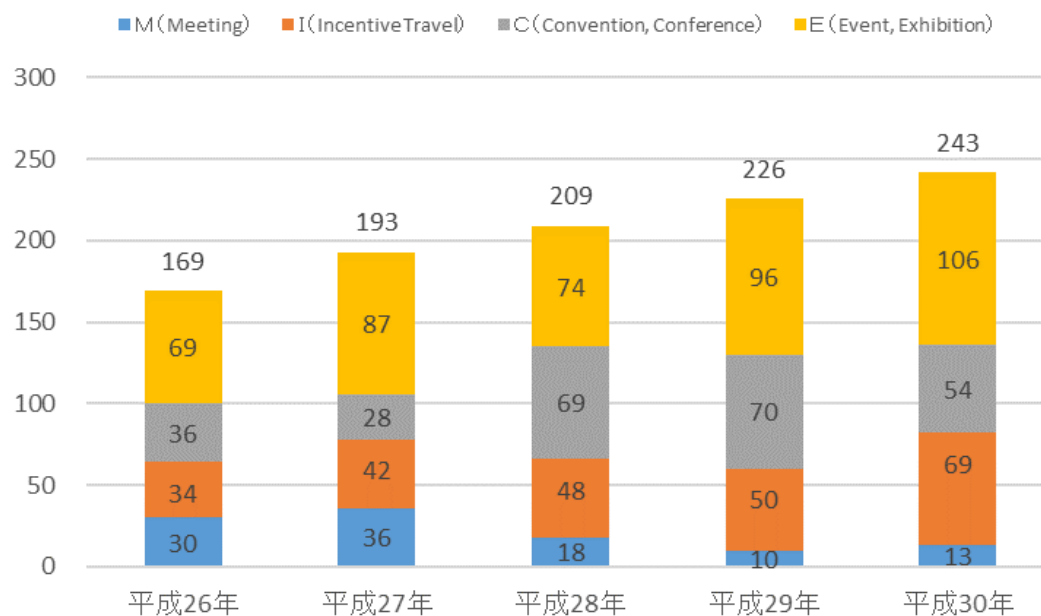
(単位: 億円)

区分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年		
					金額	前年比	
M(Meeting)	30	36	18	10	13	3	
I(Incentive Travel)	34	42	48	51	70	19	
C(Convention, Conference)	36	28	69	70	54	-16	
E(Event, Exhibition)	69	87	74	96	106	10	
内訳	Ex(展示会等)	19	16	17	28	16	-12
	Ev(イベント)	50	71	57	68	90	22
計	169	193	209	227	243	16	

※平成 26 年、27 年の経済効果については「平成 27 年度沖縄県 MICE 開催実態調査事業報告書」参照

図表 56. 経済効果(直接効果)の推移(平成 26 年～30 年)

(単位: 億円)



### 1. 6. 2. 経済波及効果（間接効果）

経済波及効果（間接効果）の算出については、本調査で得られた基礎データを基に、1 催事当たりの会期日数、参加者数等のモデルを作成し、観光庁の「MICE の経済波及効果測定のための地域別簡易測定モデル」（観光庁モデル）を用いて算出した後、平成 30 年の MICE 開催件数を乗ずることで算出した。

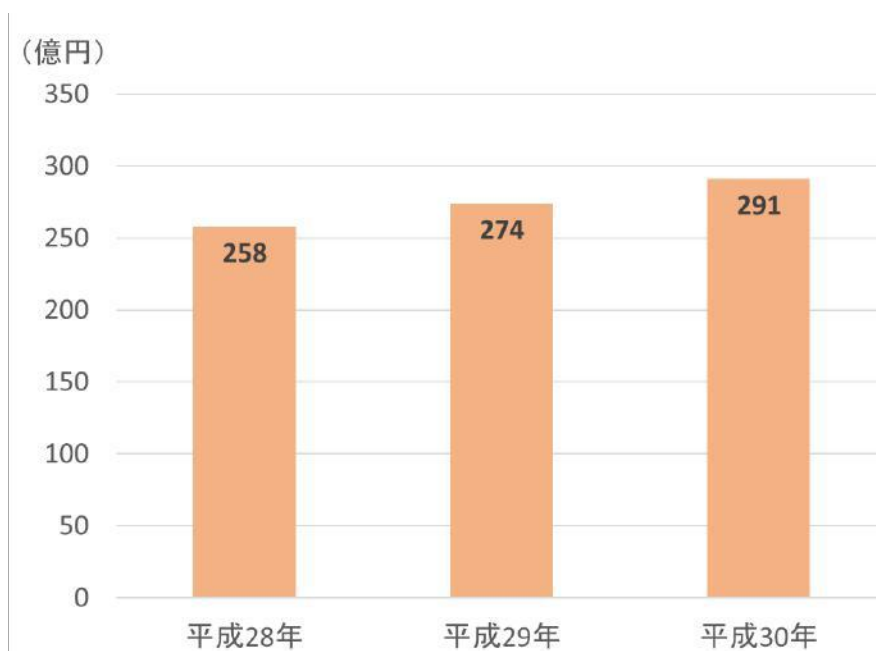
算出の結果、平成 30 年の経済波及効果（間接効果）は約 291 億円となり、前年の 274 億円から 17 億円の増加となった。

#### 【計算式】

$$\boxed{\text{経済波及効果 (間接効果)}} = \boxed{\text{1 催事当たりの経済波及効果 (間接効果)}} \times \boxed{\text{MICE 開催件数 (平成 30 年)}}$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表 57. 経済波及効果(間接効果)の推移(平成 28 年~30 年)



## 1. 7. MICE の取組みに関するアンケート結果

### 1. 7. 1. アンケートの内容

本調査では、県内事業者等の MICE ビジネスへの取組み状況の把握を目的として、アンケート調査を実施した。主なアンケート調査項目については、以下のとおり。

#### 【主なアンケート調査項目】

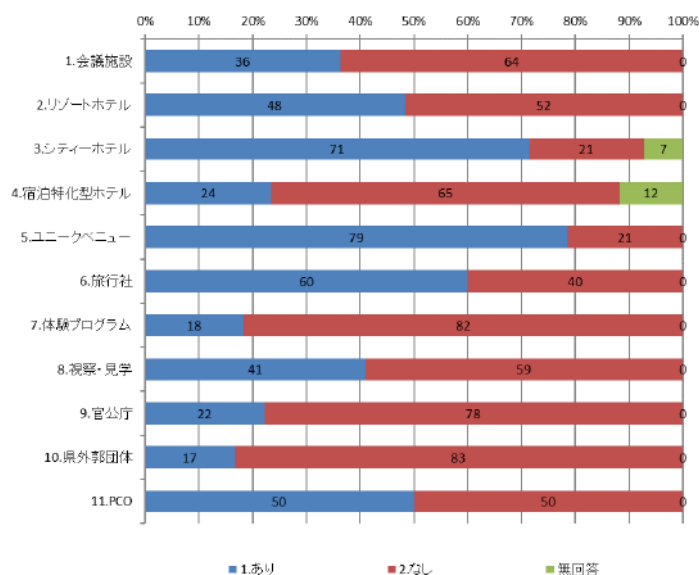
- ① 平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日の期間で MICE を受け入れた、または受け入れる予定の有無
- ② MICE 関連の部署・担当者の有無
- ③ 平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日において受け入れた MICE の受入経緯
- ④ 平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日の期間における、MICE ビジネスに関する取組み状況

### 1. 7. 2. アンケート結果

Q1：平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日の期間において、MICE を受け入れましたか？

図表 58. アンケート Q1 回答

	総数	1.あり	2.なし	無回答
1.会議施設	44	16	28	0
2.リゾートホテル	60	29	31	0
3.シティホテル	14	10	3	1
4.宿泊特化型ホテル	17	4	11	2
5.ユニークベニュー	14	11	3	0
6.旅行社	20	12	8	0
7.体験プログラム	49	9	40	0
8.視察・見学	22	9	13	0
9.官公庁	45	10	35	0
10.県外団体	30	5	25	0
11.PCO	4	2	2	0
総数	319	117	199	3

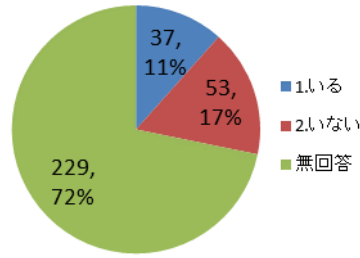


回答数 319 件のうち、MICE 受け入れがあったと回答したのは 117 件で、全体の 37%であった。なお、宿泊特化型ホテルで受け入れ実績があったのは 4 件（24%）であった。

Q2：MICE 関連の部署・ご担当者はいらっしゃいますか？

図表 59. アンケート Q2 回答

総数	319
1.いる	37
2.いない	53
無回答	229

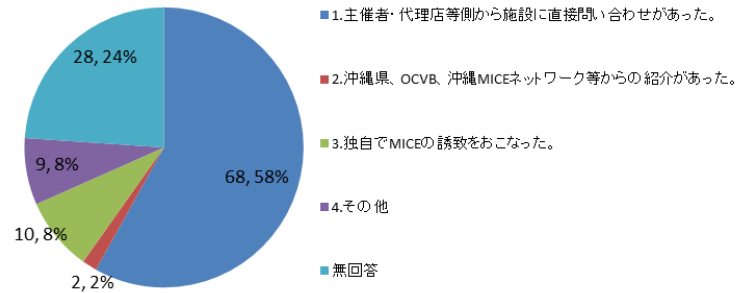


MICE の担当者を設けているとの回答は 37 件で、設けていないのは 53 件であった。

Q3：(Q1で「あり」と回答した場合のみ) 平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日において、受け入れた MICE のうち、受入経緯について最も当てはまる内容についてご回答ください。

表 60. アンケート Q3 回答

総数	117
1.主催者・代理店等側から施設に直接問い合わせがあった。	68
2.沖縄県、OCVB、沖縄 MICE ネットワーク等からの紹介があった。	2
3.独自で MICE の誘致をおこなった。	10
4.その他	9
無回答	28

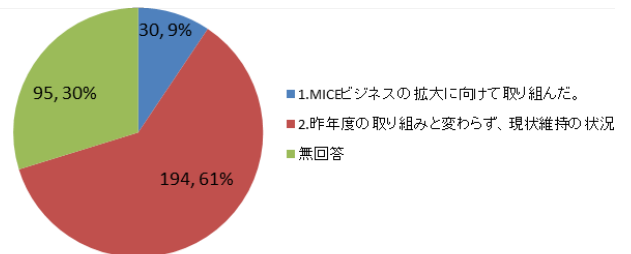


主に主催者・代理店からの問い合わせをきっかけとして受入れが実施された例が多いことがわかる。なお、一部の会議施設、リゾートホテル、視察・見学、県外郭団体、PCO については独自で誘致活動を行っているとの回答があった。

Q4：平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日の期間における、MICE ビジネスに関する取組み状況についてご回答ください。

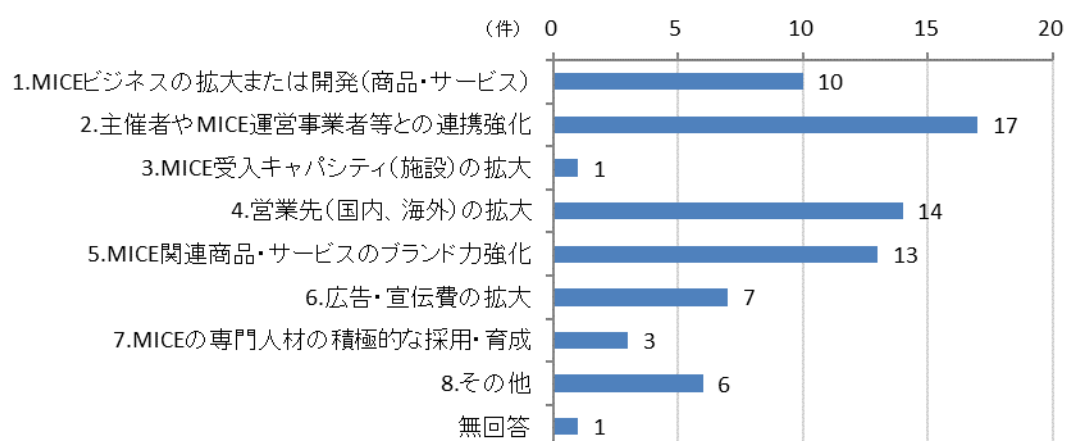
図表 61. アンケート Q4 回答

総数	319
1.MICE ビジネスの拡大に向けて取り組んだ。	30
2.昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況	194
無回答	95



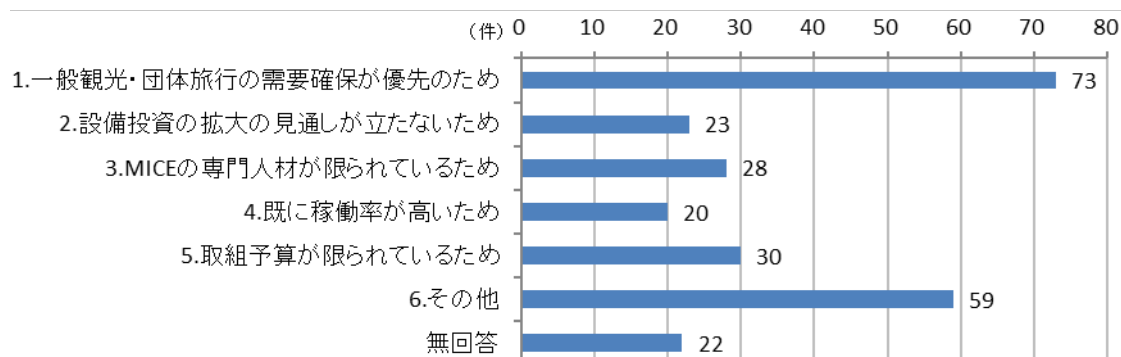
拡大に向けて取り組んでいるという回答は 30 件で、全体の 9%となっている。なお、旅行社、PCO の業種では MICE ビジネス拡大に向けた取組みを行っている割合が高かった。

(Q4で「1：MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ。」と回答した場合のみ)  
 取組みの具体的な内容（複数回答可）



MICEビジネスの拡大に取り組んだと回答した施設等の具体的な取組み内容としては、「主催者やMICE運営事業者等との連携強化」「営業先の拡大」「広告・宣伝費の拡大」など、誘致・営業体制の強化に関する取組みを行っているところが多かった。また、「MICE関連商品・サービスのブランド力強化」や「MICE向け商品・サービスの開発」など、提供する商品・サービス自体の開発や改善に向けた取組みを積極的に実施しているところもあった。

(Q4で「2.昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況」と回答した場合のみ)  
 現状維持に関する具体的な理由（複数回答可）



MICEビジネスへの取組みについて「現状維持」と回答した施設等の具体的な理由としては、「一般観光・団体旅行の需要確保が優先のため」との回答が最も多かった。特に営業年数が長い施設等では、毎年同じ時期に同じ団体による継続利用がある、稼働率が高い等、既存顧客への対応で必要十分であり、新たにMICEへの取組みを行う必要性を感じないとの記述が多かった。また、小規模の施設等では、そもそもMICEを受け入れられるだけの施設・設備がないため受入が困難であるとの回答が目立った。



## 1. 8 ヒアリング調査結果

### 1. 8. 1. ヒアリング調査の内容

本調査では、施設・事業者が自ら MICE を誘致・開催した成功事例を把握することを目的として、MICE ビジネスへの取組み現況調査に関するアンケート調査で「独自で MICE の誘致をおこなった。」と回答した事業者を中心に、ヒアリング調査を実施した（参考資料 2. 1. 2.）。主なヒアリング調査項目については、以下のとおり。

#### 【主なヒアリング調査項目】

- |                                       |
|---------------------------------------|
| ① MICE 誘致又は独自開催までの経緯等                 |
| ② 誘致又は独自開催までのスケジュール                   |
| ③ 沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由      |
| ④ 誘致または独自開催する上で工夫した点                  |
| ⑤ 主催者側の MICE 開催後の感想（評価された点、改善を要望された点） |

#### 【ヒアリング対象】

No	区分	催事名	事業者名
1	M・I	インセンティブ、ミーティング案件等	パシフィックホテル沖縄
2	C	第 46 回青年経営者全国交流会 in 沖縄	沖縄県中小企業家同友会
3	E	第 1 回島酒フェスタ	沖縄県酒造組合

## 1. 8. 2. ヒアリング結果

### (1) インセンティブ、ミーティング案件等

[MICE 誘致までの経緯等]

催事名	インセンティブ、ミーティング案件等
主催者	県外・海外の企業等
催事内容	80 名程度の報奨旅行 (5 グループに分かれての旅行) 他
誘致の背景	関東にある法人を取り扱っている旅行代理店に営業を行っている。旅行代理店から MICE の受入について問い合わせ・依頼があることが多い。
競合開催地	一般的に、沖縄での MICE 開催にあたり競合は国内だと福岡の天神。二次会などの利便性、街がコンパクトにまとまっていることから、金額で比較されると負けてしまう。海外だとグアムやサイパンが競合となる。金額的には変わらないため、どうせなら海外に行こう、と判断されると負けてしまう。

[MICE 誘致のスケジュール]

誘致活動期間	2～3 年前から旅行会社を回っている。
誘致が決定する時期	大規模案件 (20 名以上) : 実施日の約 2 年前 小規模案件 (10～20 名程度) : 実施日の約 2～3 カ月前

[誘致活動の上で工夫した点]

<p>当ホテルの以下の特徴を営業の際にアピールしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 那覇空港から近い。(うみそらトンネルを通過して約 8 分)</li> <li>✓ 大型の無料駐車場がある。</li> <li>✓ 宴会場の舞台の広さ。</li> <li>✓ 2 階に大小合わせて 14 の宴会場。同フロアですべてがまかなえる。</li> </ul>
--

[主催者側の MICE 開催後の感想 (評価できる点、改善すべき点) ]

<p>(評価できる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 沖縄ならではの雰囲気、空気感が良い。リゾート地、海というイメージ。</li> <li>✓ 旅程として離島を組み込むこともできる。</li> </ul> <p>(改善すべき点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「那覇市内のホテルは、似たり寄ったりでオリジナリティーがない」という意見をいただいた。今は、宿泊のキャパシティで決まることが多いが、各ホテルが持つ良さを主催者が選択できるようになるといい。</li> </ul>
---

[その他]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 誘致の成果としては厳しいのが現状。MICE の開催時期が修学旅行の時期と被ることが多く、宿泊が確保できないことが多い。</li> <li>✓ 課題は客室数。希望室数が 20～30 室であれば対応可能だが、50 室を超えると調整が非常に難しい。MICE の問い合わせ自体はかなりあるが、宿泊は取れても宴会場が取れない、もしくは宿泊が取れず宴会場だけという場合が多い。そのため成約率は 50% 程度。なお、宴会場だけという場合は、宿泊は関係ないため押さえられる確率が高い。</li> <li>✓ 最近問い合わせが多いのが、大学関係の説明会。大学を顧客としている旅行代理店からの問い合わせが増えている。また、旅行会社では、個人手配での旅行が多くなっていることから、法人・MICE 関係を重視している傾向がある。</li> </ul>
--

- ✓ 2泊3日、200名程度の案件の依頼が多い。
- ✓ 本土に比べると沖縄は宴会場のキャパシティーが少ないことが課題だと感じている。1,000名規模の懇親会となると、一つのホテルではできない。機材も足りないため、依頼があれば、協力して無償で貸し出している。
- ✓ 沖縄の宴会場は夏場（6～8月）が閑散期となるため、この時期の稼働率向上が課題。

## (2) 第46回青年経営者全国交流会 in 沖縄

[MICE 誘致までの経緯等]

催事名	第46回青年経営者全国交流会 in 沖縄
主催者	中小企業家同友会全国協議会 (主管：沖縄県中小企業家同友会)
開催日	2018年11月29日(木)～30日(金) 2日間
会場	ロワジールホテル&スパタワー那覇、パシフィックホテル沖縄、 沖縄産業支援センター
催事内容	全国の青年経営者が集い、全体会や分科会、懇親会を行い交流 する
MICE 誘致の背景	沖縄県中小企業家同友会が創立30周年を迎えるため、その周年 記念行事として本催事の誘致活動を実施した。

[誘致のスケジュール]

誘致活動期間	約5～3年前
誘致が決定する時期	実施日の約2～3年前

[誘致に関する取組みについて]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 誘致は、早ければ5年前、遅くとも3年前から行う。</li> <li>✓ 開催地の決定は、競合地がなければ3年前、競合地があれば2年前に確定する。競合がある場合は競合地と話し合いにより調整する。</li> <li>✓ 周年行事等に合わせて誘致することが多い。</li> </ul>
--

[沖縄が開催地として選ばれた理由]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 中小企業家同友会では、1,000名規模の行事が年に3回開催される。基本的には各地での持ち回りとなっており、大都市で開催されることがほとんどだが、沖縄と北海道は参加者から人気がある。</li> <li>✓ 沖縄県中小企業家同友会の創立30周年記念という点で、誘致に成功した。</li> </ul>
--

[開催する上で工夫した点]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ なるべく沖縄の特色が出るようにした。「平和」をテーマに講演を行い、「平和でないと経営できない、平和が前提である」というメッセージ性を持たせた。</li> <li>✓ 懇親会では平田大一さんにオープニングと余興を行って頂いた。</li> </ul>
--

[主催者側の MICE 開催後の感想 (評価できる点、改善すべき点)]

<p>(評価できる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 沖縄開催の場合は非常に人気が高いため、多くの参加が見込める。</li> <li>✓ 沖縄が人気となる理由は「観光」。家族と一緒に来る会員も多かった。</li> </ul> <p>(改善すべき点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 会場確保が1番のネックであった。参加者全員が1か所に集まる会場がなく、分科会を行うために複数会場を確保する必要があった。</li> <li>✓ また、会場間の移動手段としてシャトルバスを手配したが、参加者の利便性はあまり良くなかった。バスの運行費用が余分にかかる負担もあった。</li> </ul>
---

[その他]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ イベントの開催にあたっては、代理店等に委託はせず、自分たちで行った。</li> <li>✓ 会場について、ホテルは現在の景気を受けて値上げ傾向にあり、また確保すること自体が難しい。</li> </ul>
--

### (3) 第1回島酒フェスタ

#### [MICE 開催までの経緯等]

催事名	第1回島酒フェスタ
主催者	沖縄県酒造組合青年部
開催日	2018年4月14日(土)～15日(日) 2日間
会場	沖縄セルラーパーク那覇
催事内容	46の泡盛酒造所による商品展示および商談、販売会
MICE開催の背景	平成28年度に沖縄県の泡盛製造業等振興策検討委員会において、泡盛業界に対し8つの提言があった。 その中で、女性や若者に対してのアプローチを泡盛業界として取り組んでいくべきだということになった。

#### [MICE 開催までのスケジュール]

構想期間	約1年6カ月間
開催決定時期	実施日の約4カ月前

#### [MICE 独自開催に関する取組みについて]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 以前からホテルを使って小規模のイベントは開催していたが、全組合員でイベントを開催しよう、と動き出したのは提言があった後（開催日の約1年半前）であった。</li> <li>✓ 2017年12月頃（開催日の約4か月前）に会場を「沖縄セルラーパーク那覇」に決定した。</li> <li>✓ 場所を決めてから、具体的な開催スケジュールを検討した。秋頃は「泡盛の日」イベント(11月1日)などがあり、業界の繁忙期のため難しかった。</li> <li>✓ 琉球泡盛振興協議会内の推進部会の中で「観光業は4月が閑散期なので、その時期に県外の人を呼べるようなイベントがあるといい」とアドバイスがあり、「琉球海炎祭」に合わせて開催して、人を呼び込もうということになった。</li> </ul>
--

#### [開催を検討した理由]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平成29年に琉球泡盛振興協議会を立ち上げ、県内の卸組合、小売組合、商工会議所、OCVB、ホテル協会、旅館業組合、などが集まって業界を盛り上げていくために話し合った。その中で推進部会を作り、JAおきなわや航空会社等の民間企業からも協力を経て、女性が飲めるリキュールを作ったり、女性に泡盛を飲んでもらう機会を作るべきという話になった。</li> <li>✓ 酒造業界はいろんなイベントを行っているが、業界単独で主体性をもったイベントを開催することがなかったため、取組みに挑戦することにした。</li> </ul>
---

#### [独自開催する上で工夫した点]

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飲酒運転を確実に防げるような場所にこだわった。一人が飲酒運転をしてしまうと業界自体が非難されてしまうため、公共交通機関がある場所でないといけなかった。「沖縄セルラーパーク那覇」が候補に上がり、県、那覇市に相談して協賛としての参画していただくことで、同会場の確保が実現した。</li> </ul>
--

#### [主催者側の MICE 開催後の感想（評価できる点、改善すべき点）]

<p>(評価できる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 一番良かった点は、業界自体の空気感が変わった点である。自分の酒造所の酒だけでなく、「業界全体を盛り上げよう」という考えを持ち始めた。その中で自分たちに何ができるかを考えている。みんなでファンづくりを行うという意</li> </ul>
---

識を促したと思う。

- ✓ 業界を変えるきっかけとなった。このイベントをどう育てていくか、イベントを通じていろんな施策、人材育成、原料米の生産の課題等について、改めて考えていくきっかけとなると思う。

(改善すべき点)

- ✓ 食の提案が弱かった。飲食ブースの出展社数が少なかったため、今後は食について力を入れていきたいと思っている。このイベントは「にいがた酒の陣」という3日間で14万人集まるようなイベントを参考にしている。新潟県としてもビックイベントの一つであるが、そのイベントにはこだわりの創作料理なども提供される。泡盛にどういった料理が合うのか、紹介できるように検討していきたい。
- ✓ 県内には47の酒造所があるが、自社商品のプレゼンテーションやアピールの仕方が未熟だった点が課題。ターゲット客層に合わせた商品の選び方をわかっておらず、とりあえず商品を持ってきた、というような状況だった。誰に、何を売りたいのか、というような思考をもってアプローチをしないといけない。

[その他]

- ✓ 2019年は、旅行会社から琉球海炎祭と島酒フェスタに参加するツアーの売り出しがあった。
- ✓ イベントの主体は酒造組合青年部であるが、公的機関等からの補助金は一切もらず、チケットの売り上げから賄っている。新聞等のメディアでは入場者が約12,000人と出ていたが、これはチケットの売上数であり、実際の入場者自体はこの数字を上回っている。
- ✓ 企画も自前で行っており、代理店等に委託はしていない。業界が汗をかいて、本気にならないといけない時期だと思っている。青年部のメンバーで業界の雰囲気を変えていこうと思っている。
- ✓ 沖縄総合事務局が琉球泡盛の海外輸出プロジェクトを行っていて、関係団体がアクションプランを作り、それを実行している。島酒フェスタで商談会も行った。海外への情報発信も含めている。
- ✓ 最終的には沖縄の酒がすべて楽しめるイベントを行いたい。沖縄の酒が集うイベント。観光コンテンツを作っていく時に、泡盛だけだと泡盛好きにしか響かない。ビールを好きな人にも、ワインが好きな人にも来てもらえるような、品目に囚われないイベントを目指しており、観光誘客の起爆剤となっていけるようにしたい。
- ✓ PRとして半年前から告知をしている。予算がないので泡盛の女王やSNSなど草の根的な情報発信が主体となっている。

2. 参考資料

2. 1. 開催実態調査 調査票

2. 1. 1 ビジネス取組現況および開催実態調査票 (様式1-1)

MICEビジネスへの取組現況調査に関するアンケート

平成30年分  
(調査対象期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日)

成長著しいアジア地域や国内のMICE開催需要を沖縄に取り込み、本県のみならずMICE振興を図るため、調査へのご協力何卒よろしくお願ひいたします。

企業/団体名 \_\_\_\_\_ ご担当者名 \_\_\_\_\_ 部署/役職 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

【MICEビジネスへの取組現況調査に関するアンケート】

Q1：平成30年1月1日～平成30年12月31日の期間において、MICEを受け入れましたか、または受け入れる予定はありますか？

1. あり 2. なし  
※「あり」とご回答の場合：Q2、3へも進みください。  
※「なし」とご回答の場合：Q4についてご回答ください。

Q2：MICE関連の部署・ご担当者はいらっしゃいますか？

1. いる 2. いない  
※「いる」とご回答の場合：「部署名」 \_\_\_\_\_ 「ご役職名」 \_\_\_\_\_ 「ご担当人数」 \_\_\_\_\_ 名

Q3：平成30年1月1日～平成30年12月31日において、受け入れたMICEのうち、受け入れたMICEのうち、受入経緯について最も当てはまる内容についてご回答ください。(1つ選択)

1. 主催者・代理店等側から施設に直接問い合わせがあった。 2. 沖縄県、OCVB、沖縄MICEネットワーク等からの紹介があった。 3. 独自でMICEの誘致をおこなった。  
4. その他 ( )

Q4：平成30年1月1日～平成30年12月31日の期間における、MICEビジネスに関する取組状況についてご回答ください。

1. MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ。(Q5の(1)へ)  
2. 昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況。(Q5の(2)へ)

Q5：平成30年1月1日～平成30年12月31日の期間における、MICEビジネスに関する取組み状況についてご回答ください。

- (1) Q4で「1：MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ。」に回答した内容の具体的な内容・理由 (複数回答可)  
1. MICEビジネスの拡大または開発 (商品・サービス) 2. 主催者やMICE運営事業者等との連携強化 3. MICE受入キャパシティ (施設) の拡大  
4. 営業先 (国内、海外) の拡大 5. MICE関連商品・サービスのブランド力強化 6. 広告・宣伝費の拡大  
7. MICEの専門人材の積極的な採用・育成  
8. その他 ( 記入欄 )
- (2) Q4で「2. 昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況」に回答した内容の具体的な内容・理由 (複数回答可)  
1. 一般観光・団体旅行の需要確保が優先のため 2. 設備投資の拡大の見通しが立たないため 3. MICEの専門人材が限られているため  
4. 既に稼働率が高いため 5. 取組予算が限られているため  
6. その他 ( 記入欄 )

※本調査票は沖縄県のHPよりダウンロードが可能です。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/index.html>

※県外または海外から10名以上の参加者がいる催事をMICEとする。

※MICEのカテゴリー・区別の詳細については、ガイドラインを参照ください。

返信・問合せ先：ランドブレイン株式会社 沖縄事務所

電話：098-943-8743 FAX：098-943-8746

FAX送信枚数 合計 枚

又は E-mail okinawa\_mice@landbrains.co.jp

⇒ 様式1-2へお進みください。

回答欄
Q1の回答
Q2の回答
Q3の回答
Q4の回答
Q5の回答

沖縄県MICE開催実態調査票 (開催実績・予定)

平成30年分  
 (調査対象期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日)

→ <http://www.pref.okinawa.jp/site/bunko-sports/mice/h30mice-chousa.html>

※電子メールの調査票については、次のURLよりダウンロードして下さい。  
 ※県外または海外から10名以上の参加者がある催事を対象とする。(詳しくは別添のガイドラインをご参照ください。)

企業/団体名 \_\_\_\_\_  
 ご担当者名 \_\_\_\_\_

※FAXにて提出される際、用紙がバラバラになる可能性がありますので、お手数ですがご用意が全ての様式に、企業/団体名、ご担当者名をご記入ください。

●今年分 (平成30年1月1日～平成30年12月31日) のMICEの受入実績及び予定をご記入ください。

★【記入にあたっての注意事項】★

- ※1 催事名称や主催者名は可能な限り記入ください。なお、個別の催事名、団体情報は一切、公表いたしません。(例：県内在住の方は県内、県外在住の方は県外、海外在住の方は海外。)
- また、催事名称が分からない場合は、業種もしくは分野をご記入ください。(例：展示のガイドラインをご参照ください。)
- ※2 会場の郵便名は C (Convention, Conference) 、 E (Event, Exhibition) の場合のみ記入ください。また、複数会場を実施する場合は併記してください。(例：A会議室、B会議室)
- ※3 開催日の開催時間は「午前」または「午後」を、閉幕日の終了時間は「15時」または「15時以降」を選択ください。
- ※4 参加者は、出身地別かつ参加時の在場場所により振り分けてください。

催事種別	催事名称 ※1	主催者	会場名		開催期間		開催時間		概要	参加者		海外参加者の内訳																	
			会場	部屋名 ※2	開催日	開始時間 ※3	終了時間 ※3	県内		県外	台湾	中国	香港	韓国	アジア	その他	参加者 合計 (名)												
											0	0									0	OK							
												0	0										0	OK					
												0	0											0	OK				
												0	0												0	OK			
												0	0													0	OK		
												0	0														0	OK	
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK
												0	0															0	OK



## 2. 1. 2. MICE事例ヒアリング調査票

平成30年度沖縄県MICE開催実態調査事業  
委託者：一般財団法人沖縄コンベンションビューロー  
受託事業者：ランドブレイン株式会社

### ヒアリング調査票

平成31年 月 日

#### 1. 質問事項（案）

- ・MICE誘致又は独自開催までの経緯等

開催した催事名	
開催日	
催事内容	
誘致または独自開催の背景	
競合（または検討した）開催地	

- ・誘致又は独自開催までのスケジュール

##### ① 誘致の場合

誘致活動期間 約（ ）月間	誘致が決定した時期 実施日の約（ ）月前
------------------	-------------------------

##### ② 自主開催の場合

構想期間 約（ ）月間	開催が確定した時期 実施の約（ ）月前
----------------	------------------------

- ・沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由

--

- ・誘致または独自開催する上で工夫した点

--

- ・主催者側のMICE開催後の感想（評価された点、改善を要望された点）

（評価された点）
（改善を要望された点）

## 2. 2. ガイドライン

# 「沖縄県 MICE 開催実態調査（平成 30 年分）」ガイドライン

### 「MICE」の定義

「MICE」とは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）、展示会・見本市（Exhibition）、イベント等（Event）に該当する催事のことを指します。

### 調査対象となる「MICE」

本調査業務の対象となる「MICE」催事は、下記催事区分の定義に該当する催事のうち、沖縄県外または日本国外からの参加者数が合計 10 名以上の催事とします。

### 催事区分（M・I・C・E）について

本調査業務における「MICE」の催事区分は、以下の通りとします。

#### M（Meeting/企業・団体会議）

企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が主催する会議、研修、セミナー等

企業・団体会議は、企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」、「研修」、「式典」、「セミナー」等を指すものとし、具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 沖縄県外または日本国外拠点の社員を含む社内会議、顧客（沖縄県外・日本国外を含む）との会議・商談、サプライヤーとの会議等
- (2) 複数の顧客を対象とした新商品セミナー・業界セミナー・ビジネスカンファレンス等
- (3) 自社社員・販売員・販売代理店やサプライヤー企業等を対象とした教育や情報発信目的の研修・セミナー等
- (4) 自社社員・顧客・販売代理店・サプライヤー等を対象とした周年パーティーや記念式典等

※ ただし、上記(1)～(4)に相当する場合であっても、I（Incentive Travel/インセンティブ旅行）の定義にも該当する催事は除くものとします。

#### [催事区分M（Meeting）の例]

「〇〇株式会社 全国責任者会議」、「〇〇産業連合会 九州沖縄ブロック支部会議」、「〇〇会経営者総会」、「新人経営者向けの〇〇セミナー」、「グループミーティング」等

#### I（Incentive Travel/インセンティブ旅行）

企業等が主催する報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等

インセンティブ旅行は、沖縄県外または日本国外を出発地とする団体旅行型催事のうち、「ビジネスの促進」、「アイデアの共有」「参加対象者の過去の実績に対する報奨の提供」を目

的とするものを指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 自社社員・販売員・販売代理店等を対象とした報奨・研修目的の旅行
- (2) 社員・販売員全員や部署全員を対象としたものではなく、業績に応じて一定の条件をクリアした社員を選抜して開催する催事
- (3) 催事の中に、経営方針・新商品等についての会議や研修等の要素が入るものもあるが、主目的が「参加社員のモチベーション向上」、「好業績に対する報奨」である催事

※ したがって、上記の要件に該当しない教育旅行、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアー等は除きます。

#### ■インセンティブ旅行主催企業の業種選択について■

インセンティブ旅行主催企業の業種については、表1から一番近いと思われるものを選択してください。

[催事区分I (Incentive Travel)の例]

「〇〇株式会社 全社研修旅行」、「〇〇販売店グループ 成績優秀者表彰旅行」、「〇〇代理店会 沖縄特別セミナーツアー」等

### C (Convention, Conference/学会・大会)

協会・学会・国内（国際）機関・団体等が主催する国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等

学会・大会は、公共機関等が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会・報告会等を指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 官公庁等（地方自治体等を含む）が主催する政府間協議、全国会議、エリア会議等
- (2) 国際・国内の公共機関・団体等が主催する加盟国・団体の全体会議、調整会議等
- (3) 学術団体、研究機関等が主催する学術集会や研究発表会、ワークショップ、シンポジウム等
- (4) 業界団体等が主催する年次総会やテーマごとの発表会等。ただし、M (Meeting/企業・団体会議) に該当するものを除く。

#### ■開催された学会・大会等の分野選択について■

学会・大会の分野については、表2から一番近いと思われるものを選択してください。

[催事区分C (Convention, Conference)の例]

「日本〇〇学会 学術集会」、「〇〇協会 第〇〇回総会」、「〇〇に関する国際会議」等

### E (Exhibition, Event/展示会・見本市、イベント)

展示会、見本市、商談会、イベント

展示会・見本市・商談会とは、国や地域を越えた「モノ」「サービス」「情報」の売買や商談を目的として開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事をいいます。また、本調査におけるイベントとは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段として開催する催事をいいます。

※ ただし、Ex (Exhibition) の催事区分に相当する展示会等であっても、「フリーマーケット」、「路上販売会」、「美術・博物展」等については本調査の対象外とします。また、Ev (Event) の催事区分に相当するイベント等であっても、「入学式・入社式」、「卒業式・修

了式」、「各種試験（採用試験、資格試験）」「スポーツイベント」等については本調査の対象外とします。

[催事区分E (Exhibition, Event)の例]

「国際〇〇見本市」、「〇〇業界商談会」、「〇〇物産展」、「〇〇ミュージックフェスタ」、「〇〇映画祭」、「合同企業就職説明会」「〇〇ライブ」等

【表1】 I (Incentive Travel) 主催企業産業分類一覧 (日本標準産業分類に基づく)

(A)	農業、林業
(B)	漁業
(C)	鉱業、採石業、砂利採取業
(D)	建設業
(E)	製造業
(F)	電気・ガス・熱供給・水道業
(G)	情報通信業
(H)	運輸業、郵便業
(I)	卸売業、小売業
(J)	金融業、保険業
(K)	不動産業、物品賃貸業
(L)	学術研究、専門・技術サービス業
(M)	宿泊業、飲食サービス業
(N)	生活関連サービス業、娯楽業
(O)	教育、学習支援業
(P)	医療、福祉
(Q)	複合サービス事業
(R)	サービス業（他に分類されないもの）
(S)	公務（他に分類されるものを除く）

【表2】 C (Convention, Conference) 会議分野一覧 (JNTO 国際会議統計に基づく)

(1)	政治、経済、法律
(2)	科学、技術、自然
(3)	医学
(4)	産業
(5)	芸術、文化、教育
(6)	社会
(7)	運輸、観光
(8)	社交、親善
(9)	宗教
(10)	スポーツ（講演会やセミナーの開催または併催の場合のみ）
(11)	その他

沖縄県 MICE 開催実態調査 ご回答用ガイドライン

沖縄県で開催される『**県外・海外から 10 名以上の参加者がいる催事**』について、以下を基準にご回答ください。

※裏面もご覧ください。

催事種別	内容	主催	備考
Meeting (企業・団体会議)	会議、研修、セミナー  例)「〇〇株式会社 全国責任者会議」、「〇〇産業連合会 九州ブロック会議」、「新人経営者向けの〇〇セミナー」等	企業、団体等 (公共・学術系を除く)	I(インセンティブ旅行)の定義にも該当する場合は I に分類する
Incentive Travel (インセンティブ旅行)	報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等	企業等	教育旅行、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアーは対象外
Convention / Conference (学会・大会)	国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等  例)「日本〇〇学会 学術集会」、「〇〇協会 第 00 回総会」、「〇〇に関する国際会議」等	団体、協会、学会、国際機関等 (公共・学術系)	
Exhibition / Event (展示会・見本市・イベント)	展示会、見本市、商談会、イベント  例)「国際〇〇見本市」、「〇〇業界商談会」、「〇〇物産展」、「〇〇ミュージックフェスタ」、「〇〇映画祭」、「〇〇ライブ」等	団体、協同組合、企業、行政機関、実行委員会等	フリーマーケット、美術・博物展、入学・卒業式、各種試験、スポーツイベントは対象外

表1 主催企業 産業分類

A)農業、林業	K)不動産業、物品賃貸業
B)漁業	L)学術研究、専門・技術サービス業
C)鉱業、採石業、砂利採取業	M)宿泊業、飲食サービス業
D)建設業	N)生活関連サービス業、娯楽業
E)製造業	O)教育、学習支援業
F)電気・ガス・熱供給・水道業	P)医療、福祉
G)情報通信業	Q)複合サービス事業
H)運輸業、郵便業	R)サービス業 (他に分類されないもの)
I)卸売業、小売業	S)公務 (他に分類されるものを除く)
J)金融業、保険業	

表2 会議分野

1)政治・経済・法律
2)科学・技術・自然
3)医学
4)産業
5)芸術・文化・教育
6)社会
7)運輸・観光
8)社交・娯楽
9)宗教
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合

※おもて面もご覧ください。

調査の目的	成長著しいアジア地域や国内の MICE 開催需要を沖縄に取り込み、本県のさらなる MICE 振興を図るため、調査を実施します。
調査票ダウンロード	本調査票は、沖縄県ウェブサイト(下記 URL)よりダウンロードすることが可能です。 [沖縄県 MICE 開催実態調査 URL] <a href="http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h30mice-chousa.html">http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h30mice-chousa.html</a>
調査対象となる催事	おもて面記載の「M/I/C/E」に該当する催事のうち、 <b>県外または海外から 10 名以上の参加者がいる催事</b> を調査対象とします。
催事名称	分からない場合は、表 2 会議分野より選択ください。
主催者	分からない場合は、表 1 産業分野より選択ください。
主催者の所在地	都道府県の記載が難しい場合は、エリアを記載。(例：関東エリア、関西エリア等) わからない場合は、「不明」と記入下さい。
参加者	参加者は、出身地問わず <b>参加時の在住場所</b> により振り分けず。(例：県内在住は県内、県外在住は県外、海外在住(邦人を含む)は海外。)
参加国	<b>参加国数には日本を含まないでください。</b> 例) 日中韓会議の場合、参加国数は 2 か国
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主催者や催事名は可能な限りご記入ください。ご回答いただいた<b>個別の催事名・団体情報は一切、公表いたしません。</b></li> <li>● 記入スペースが足りない場合は、本調査票の様式をシートごとコピーしてご利用ください。</li> <li>● FAX にてご提出される際は、お手数ですが全ての様式に、企業/団体名、アンケート回答者名をご記入ください。</li> </ul>